

SHARP®

AUvi
1-BIT DIGITAL AUDIO

$\Delta\Sigma$
1-BIT TECHNOLOGY

1ビットデジタルシステム

エス ディー シーエックス
形 名 **SD-CX80**

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる
ところに必ず保存してください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Mini
Disc

MDLP

1bit
Technology

1 章

はじめに

	ページ
安全に正しくお使いいただくために	4
おもな特長	8
付属品について	8
各部のなまえ	9

2 章

使う前の準備

リモコンに乾電池を入れる	13
設置について	13
システムを接続する	14
電源を入れる	16
時計を合わせる	17

3 章

CD・MD・ラジオの聞きかた

CD を聞く	18
MD を聞く	20
ラジオ放送を聞く	23
音量や音質を調整する	25

4 章

MDへの録音

	ページ
録音する前に、知っておいていただきたいこと	26
CD の 1 曲目から順番に録音する	28
CD の好きな曲だけを録音する (マイトラックエディット)	30
CD の選んだ曲番から録音する	32
CD の曲の好きなところから録音する (マニュアル録音)	33
ラジオ放送を録音する	34

5 章

CDやMDのいろいろな聞きかた

聞きたい曲から聞く (ダイレクト選曲)	36
くり返して聞く・順不同で聞く (リピート再生・ランダム再生)	37
好きな曲だけを記憶させて聞く (プログラム選曲) ...	38
好きなグループだけを記憶させて聞く (グループプログラム選曲)	39

6 章 MDの編集

	ページ
録音した MD にタイトルをつける	40
ディスク名をつける (ディスクネーム)	40
グループ名をつける (グループネーム)	40
曲名をつける (トラックネーム)	41
ディスク名を消去する	42
グループ名を消去する	42
曲名を消去する	42
曲やグループを消す	43
1 曲ずつ消す (トラックイレース)	43
グループを消す (グループイレース)	43
すべての曲を消す (オールイレース)	43
曲を編集する	44
2 曲を 1 つにつなぐ (コンバイン)	44
1 曲を 2 つに分ける (デバイド)	44
曲を移動する (ムーブ)	45
グループを編集する	46
曲を別のグループに移動する (グループチェンジ)	46
グループを先頭に移動する (グループトップムーブ)	46
グループになっていない曲をグループにする (グループエントリー)	47
グループ情報を消去する (グループキャンセル)	47

7 章 タイマーの使いかた

	ページ
音楽で目覚めたり、留守中に録音する (タイマー)	48
音楽を聞きながらおやすみになる (スリープ)	51

8 章 他の機器との使いかた

他の機器の再生音を聞いたり、録音する	52
--------------------------	----

9 章 ご参考

CD について	54
MD について	55
“故障かな？” と思ったら	56
こんな表示が出たときは	58
MD のシステム上の制約	59
お手入れについて	60
音楽著作権について	60
仕様	61
保証とアフターサービス (よくお読みください)	62
お客様ご相談窓口のご案内	63

1 章

2 章

3 章

4 章

5 章

6 章

7 章

8 章

9 章

安全に正しくお使いいただくために

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

1 章

はじめに

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

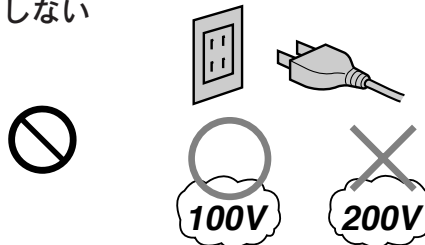
図記号の意味

	この記号は 気をつける必要があることを表しています。
	この記号は してはいけないことを表しています。
	この記号は しなければならないことを表しています。

警告

電源について

AC100V 以外の電源電圧では使用しない



火災・感電の原因となります。

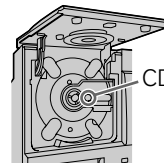
外国では使用しない



この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。
(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)

CDピックアップについて

CDピックアップの光源を直視しない



目を痛める原因となります。

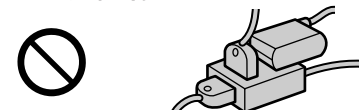
電源コードについて

付属以外の電源コードは使用しない



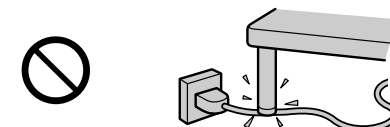
火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない



発熱により、火災の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない



電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたときは…
販売店に交換をご依頼ください

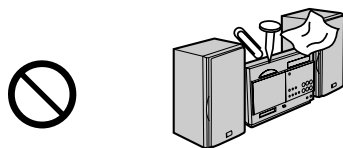


そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

警告

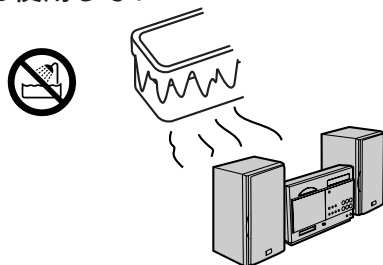
内部に物や水などを入れない

開口部（ディスク挿入口やスピーカーダクトなど）から金属類や燃えやすい物などを入れない



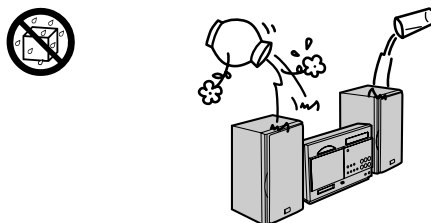
火災・感電・けがの原因となります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない



火災・感電の原因となります。

近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない



こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

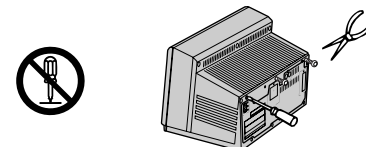
内部に水や異物などが入ったときは…
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない



火災・感電・けがの原因となります。
また、レーザー光が目にあたると目を痛める原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください



異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷について

雷が鳴りだしたら…

安全のため、製品にさわらないでください



感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために（続き）

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

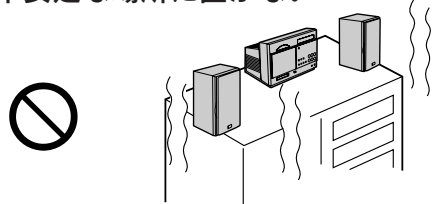
1 章

はじめに

⚠ 注意

置き場所について

不安定な場所に置かない



落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない



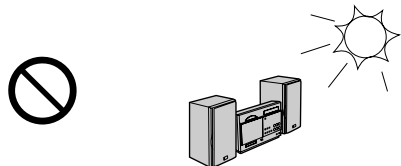
火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない



露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

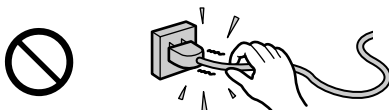
直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない



火災・事故の原因となることがあります。

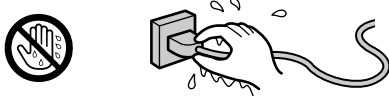
電源コードの取り扱いについて

プラグを抜くときはコードを引っばらない



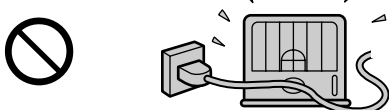
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

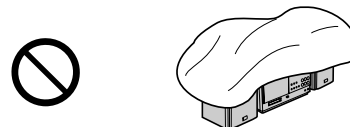
コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止する



火災・感電の原因となることがあります。

ご使用について

風通しの悪い状態で使用しない
また、布や布団でおおったり、つつんだりしない



熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

この製品の上に物を置かない



キャビネットが変形して、火災・感電の原因となることがあります。

特殊な CD について

特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは使用しない



高速回転によりディスクが飛び出し、けがをすることがあります。

⚠ 注意

移動するときは

電源を切り、電源コードやアンテナ線、接続コードを抜いてください



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください



感電やけがの原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください



CD カバーについて

CD カバーが開閉中は、指などをはさまないよう注意してください



乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池をまぜて使用しない
- 金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない
- 水に濡らさない
- 加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない
- 分解しない
- ハンダ付けしない
- 端子をショート（短絡）させない
- 種類のちがう乾電池をまぜて使用しない
- 充電電池（ニカド電池等）は使用しない



- 乾電池が使えなくなったり、長い間使わないときは、乾電池を全部取り出しておいください。



- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを、表示どおり正しく入れてください。

もし、液がもれた場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ヘッドホンで聞くときは

音量の設定に十分気をつける



思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

外部アンテナの工事について



アンテナ工事には技術と経験が必要です。また高いところでの作業は危険です。取り付ける場合は、販売店に相談してください。

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。（CD から MD に試し録音をするときは、定速で録音してください。）
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☎ P.63）
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

おもな特長

1 章

はじめに

2.8MHzのサンプリングにより、高解像度サウンドを実現する高性能1ビットアンプ搭載

アナログ信号をデジタル信号に変換して増幅する、1ビットアンプを内蔵していますので、迫力のあるサウンドと高音質を楽しむことができます。

MDの2倍・4倍長時間録音・再生「MDLP」対応

高性能な圧縮・伸長処理により、標準録音の2倍・4倍の長時間録音がステレオで可能となり、1枚のMDに最大320分（80分ディスク使用時）まで録音することができます。（ P.28）

MDのグループ録音・再生

歌手やアルバムごとに、グループに分けて録音することができます。（ P.26）

そのMDは、グループを選んで再生することができます。（ P.22）

録音済のMDをグループに分けたり、アルバム名などを付けることができます。（ P.40～47）

CD→MD倍速編集&充実した編集機能

CDからMDへ、倍速で録音ができます。（ P.27）

CDの中から好きな曲を選んで、あとから録音（マイトラックエディット）することができます。（ P.30）

CD-R・CD-RW再生

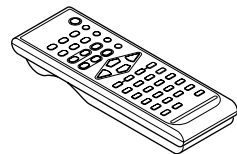
一般のCD以外にも、音楽用CD-R・CD-RWに録音された曲を聞くことができます。

- CD-R・CD-RWの再生は、録音した機器やディスクの状態によって、正しく再生できないことがあります。
この製品で、CD-R・CD-RWに録音することはできません。

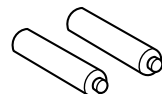
付属品について

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。



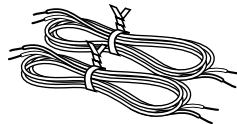
リモコン送信機×1



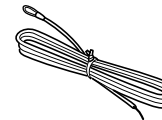
単3乾電池×2
（リモコン送信機用）



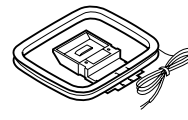
電源コード×1



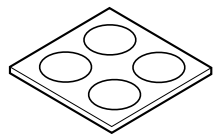
スピーカーコード×2



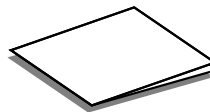
FM用アンテナ×1



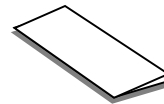
AM用ループアンテナ×1
（シールドワイヤータイプ）



スピーカー用
すべり止めシート×4



取扱説明書
（本書）×1



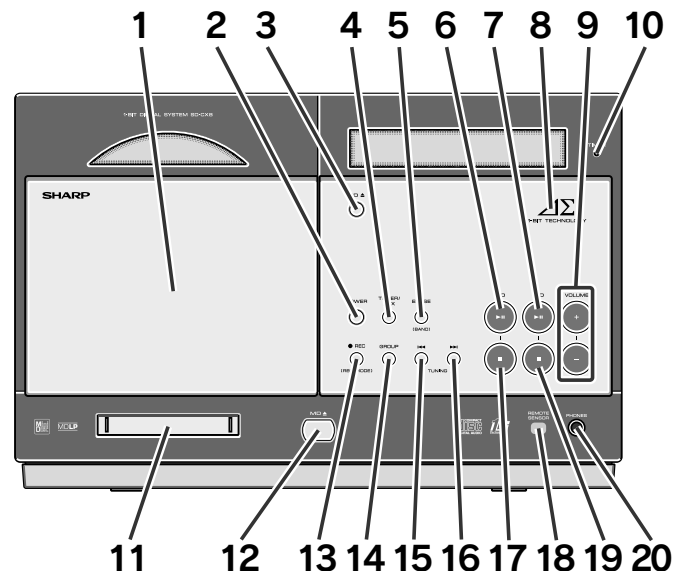
保証書×1

- この製品は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。
色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。
他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

各部のなまえ

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

前面



参照ページ

1 CD カバー	18
2 電源ボタン(POWER)	16
3 CD カバー開閉ボタン(CD ▲)	18
4 チューナー/補助入力ボタン (TUNER/AUX)	23、53
5 消去/バンド/オートマーク切換ボタン (ERASE/BAND)	23、43、53
6 CD 再生/一時停止ボタン (CD ▶)	18
7 MD 再生/一時停止ボタン (MD ▶)	20
8 電源表示ランプ	16
9 音量ボタン (VOLUME + / -)	25
10 タイマー表示 (TIMER)	49
11 MD 挿入口	20
12 MD 取出しボタン(MD ▲)	21
13 MD 録音/録音モード切換ボタン(● REC/REC MODE)	28、32
14 グループモード切換/グループ選択ボタン (GROUP)	29
15 チューニングダウン/CD・MD 早戻しボタン(▼ TUNING / ◀◀)	19、23
16 チューニングアップ/CD・MD 早送りボタン (TUNING ▲ / ▶▶)	19、23
17 CD 停止ボタン(CD ■)	18
18 リモコンセンサー (REMOTE SENSOR)	13
19 MD 停止ボタン(MD ■)	20
20 ヘッドホン端子 (PHONES)	15

1 章

はじめに

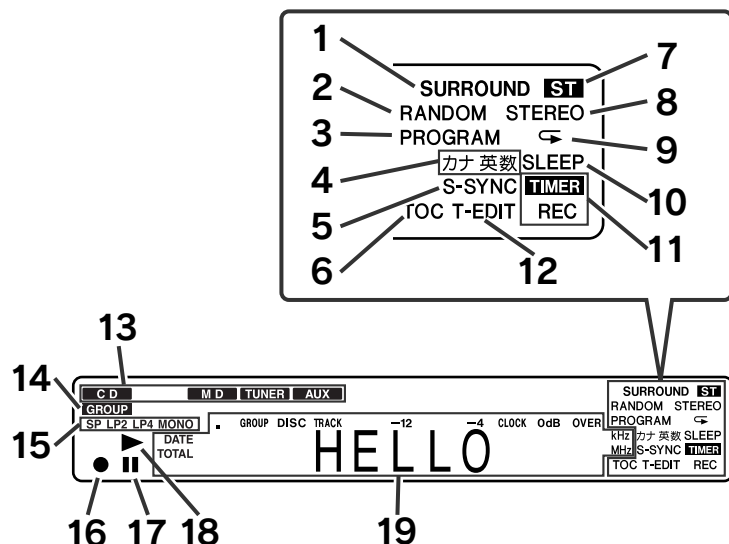
各部のなまえ（続き）

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

1 章

はじめに

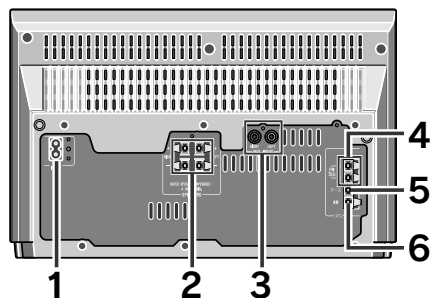
本体表示部



参照ページ

1 サラウンド表示 (SURROUND)	25
2 ランダム表示 (RANDOM)	37
3 プログラム表示 (PROGRAM)	38
4 カナ／英数表示	41
5 サウンドシンクロ録音表示 (S-SYNC)	53
6 トック表示 (TOC)	33
7 FM ステレオ受信表示 (ST)	23
8 FM ステレオモード表示 (STEREO)	23
9 リピート表示 (REPEAT)	37
10 スリープ表示 (SLEEP)	51
11 タイマー再生／タイマー録音表示 (TIMER/TIMER REC)	49
12 トラックエディット表示 (T-EDIT)	30
13 入力切替表示 (CD/MD/TUNER/AUX)	18、20、23、52
14 MD グループ表示 (GROUP)	22
15 録音モード表示 (SP/LP2/LP4/MONO)	28
16 録音表示 (●)	28
17 録音一時停止表示 (II)	28
18 CD/MD 再生表示 (▶)	18、20
19 レベルメーター / 文字情報表示 / 周波数表示	19

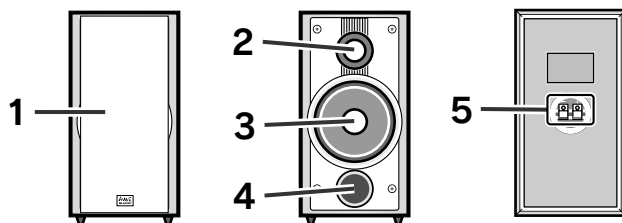
背面



参照ページ

- 1 AC 電源端子 (AC INPUT) 14
- 2 スピーカー端子 (SPEAKERS) 14
- 3 外部入力端子 (AUX INPUT) 52
- 4 FM アンテナ端子 (FM 75 Ω) 14
- 5 アース端子 14
- 6 AM アンテナ端子 (AM) 14

スピーカー



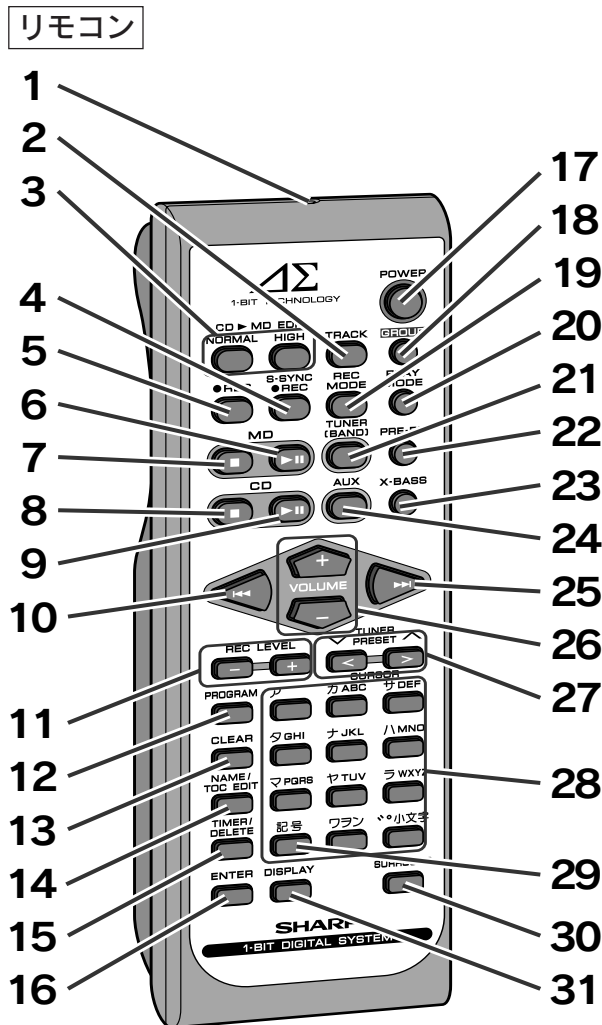
参照ページ

- 1 スピーカーネット (脱着式) 13
- 2 ツイーター
- 3 ウーハー
- 4 バスレフダクト
- 5 スピーカー端子 14

1 章

はじめに

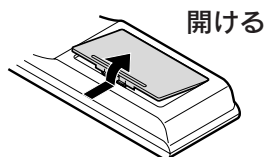
参照ページ



1 リモコン送信部	13
2 トラックボタン (TRACK)	30
3 CD ▶ MD エディットボタン (HIGH / NORMAL)	28
4 サウンドシンクロ録音ボタン (S-SYNC ● REC)	53
5 MD 録音ボタン (● REC)	32
6 MD 再生 / 一時停止ボタン (▶)	20
7 MD 停止ボタン (■)	20
8 CD 停止ボタン (■)	18
9 CD 再生 / 一時停止ボタン (▶)	18
10 チューニングダウン / CD・MD 早戻しボタン (◀◀)	19、23
11 録音レベルボタン (REC LEVEL + / -)	32
12 プログラムボタン (PROGRAM)	38
13 クリアーボタン (CLEAR)	38
14 ネーム / トック編集ボタン (NAME / TOC EDIT)	40
15 タイマー / 消去ボタン (TIMER / DELETE)	17、41、48
16 エンターボタン (ENTER)	17、24、40、48
17 電源ボタン (POWER)	16
18 グループモード切換 / グループ選択ボタン (GROUP)	22、29
19 録音モード切換ボタン (REC MODE)	28
20 再生モード切換ボタン (PLAY MODE)	37
21 チューナー / バンド切換ボタン (TUNER / BAND)	23
22 プリセットイコライザーボタン (PRE-EQ)	25
23 重低音ボタン (X-BASS)	25
24 補助入力ボタン (AUX)	53
25 チューニングアップ / CD・MD 早送りボタン (▶▶)	19、23
26 音量ボタン (VOLUME + / -)	25
27 カーソル / チューナープリセットアップダウンボタン (CURSOR < > / TUNER PRESET ∨ ∨)	17、24、40、48
28 文字入力 / MD・CD・チューナーダイレクトボタン	24、36、41
29 時間表示切換 / 記号ボタン (TIME)	19、41
30 サラウンドボタン (SURROUND)	25
31 表示切換ボタン (DISPLAY)	19

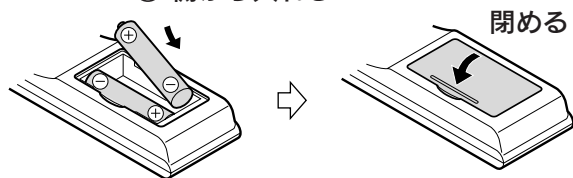
リモコンに乾電池を入れる

① フタを開ける。



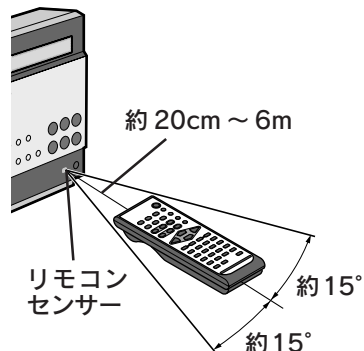
② 単3乾電池を2本入れる。

⊖ 側から入れる



- 乾電池の方向に注意して入れてください。
⊕ ⊖ をまちがえると、故障の原因となります。
- リモコンには充電電池（ニカド電池など）を使用しないでください。
充電電池では正しく動作しません。

リモコンの使える範囲（目安）



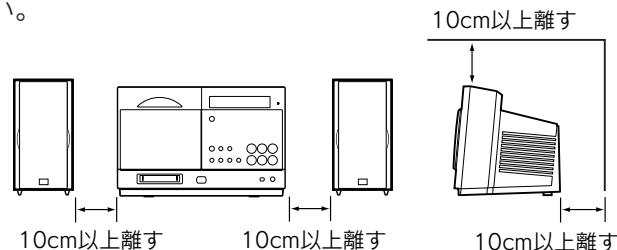
リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約 1 年です。
リモコンセンサーに近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。

- リモコンセンサーに強い光が当たる場所では使用しないでください。
誤動作の原因となります。
- リモコンセンサーや送信部にシールなどを貼らないでください。
リモコン操作ができなくなることがあります。

設置について

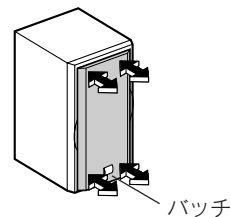
1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

この製品の背面、側面は熱くなります。放熱をよくするため、システムの間は少し離して置き、壁からも 10cm 以上離して置いてください。



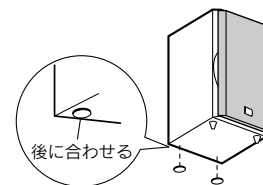
- この製品は、5℃～35℃の場所でお使いください。
- スピーカーは防磁タイプではありませんので、テレビにあまり近づけないでください。テレビの画面が色ズレなどを起こすことがあります。
- この製品をテレビ・パソコン・携帯電話などの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品に雑音が入ることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してください。
- 振動しやすい場所で使ったり、本体に衝撃を与えると、音とびを起こすことがあります。安定した場所でお使いください。
- 製品を移動させるときは、必ず CD、MD を取り出してください。
CD、MD が製品の中につまって、故障の原因となることがあります。

スピーカーネットについて



スピーカーネットは、取り外すことができます。

すべり止めシートについて



すべり止めシートをスピーカーの底面に貼り付けてください。

システムを接続する

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

2 章

使う前の準備

接続するときは、必ず電源コードを抜いてから行ってください。

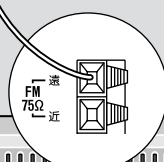
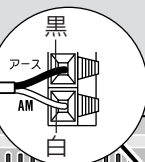
① AM 用ループアンテナをつなぐ

AM 用ループアンテナのコードを、AM アンテナ端子へつなぎます。



② FM 用アンテナをつなぐ

FM 用アンテナのコードを“遠”の端子につなぎます。アンテナの先を画びょうなどで固定します。放送局が近くにあり、電波が強い所では、音声はひずんだり、とぎれたり、雑音が入ることがあります。そのときは、“近”の端子につなぎかえてください。



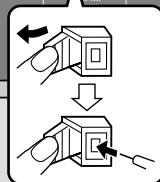
AC電源端子
(AC INPUT)

③ スピーカーをつなぐ

スピーカーコードは、必ずスピーカー側を先に接続したあと、本体につないでください。

銅色の線は
⊕ 側へ

銀色の線は
⊖ 側へ

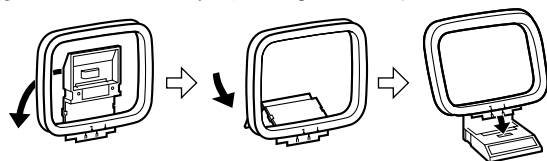


家庭用コンセントへ
(100V AC、50/60Hz)

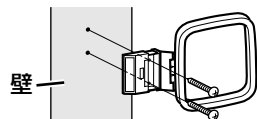
④ 最後に、電源コードをつなぐ

電源コードを AC 電源端子へ差し込み、家庭用コンセントに差し込んでください。

■ AM 用ループアンテナの組立かた



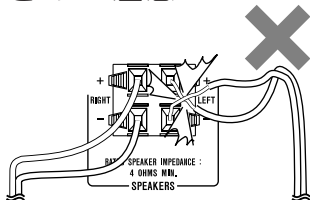
AM 用ループアンテナは壁に取り付けることができます。



ネジは付属していません。

■ スピーカーコードをつなぐときのご注意

- スピーカーコードをショートさせないでください。
電源が入っているときに、誤ってスピーカーコードをショートさせてしまうと、故障の原因となることがあります。



- スピーカーの接続は、必ず電源コードを抜いてから行ってください。
- スピーカーコードの⊕(プラス)と⊖(マイナス)、左と右チャンネルをまちがえないようにつないでください。

■ 電源コードをつなぐときのご注意

- 付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
故障や事故の原因となります。
- 電源コードを抜くときは、電源を切ってからプラグを抜いてください。
- 電源コードをはずすときは、プラグを持って抜いてください。
線を引っ張ると、断線の原因となります。

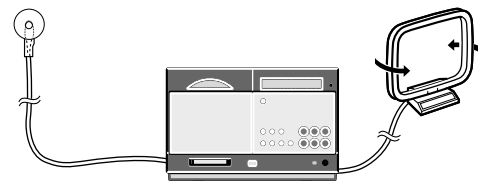
節電のために

- 旅行などで長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。
- 電源コードを抜くと、時計が止まり、1 日以上たつと登録した放送局などが消えますので、再度合わせ直してください。

■ アンテナを調整するには

FM 用アンテナ
放送が最もよく聞こえる位置
に変えてください。

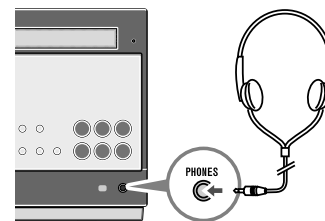
AM 用ループアンテナ
放送が最もよく聞こえる
方向にしてください。



- テレビ音声を受信中に“ブー”という音がしたり、同調が不安定になったときは、アンテナを再度調整してください。
- FM・AM 用アンテナは、本体や電源コード、スピーカーコードから離してください。近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。

ヘッドホンを使う

- インピーダンス 16 ~ 50 Ω (推奨 32 Ω) で直径 3.5mm ステレオミニプラグ付ヘッドホンをお使いください。
- ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は聞こえなくなります。



音のエチケット

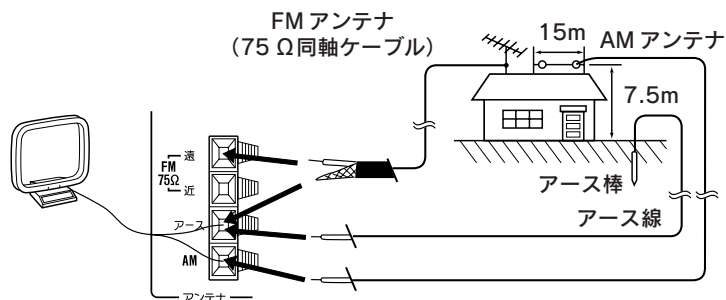
- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

2 章

使う前の準備

屋外アンテナの接続

付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを設置することができます。



- アンテナ工事には、技術と経験が必要です。また、高い所での作業は危険です。設置するときは、販売店に相談してください。
- AM 用外部アンテナを接続するときは、AM 用ループアンテナを接続したままにしておいてください。

屋外アンテナの設置場所について

- 放送局の送信アンテナがある方向に立てます。
- ビルや山のかげなど、障害物がある所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れた所、またはそれが見えない所に立てるようにしてください。
- 送電線の下には立てないでください。
送電線にアンテナが触れると大変危険です。
- 落雷のおそれがありますので、あまり高い所には立てないでください。

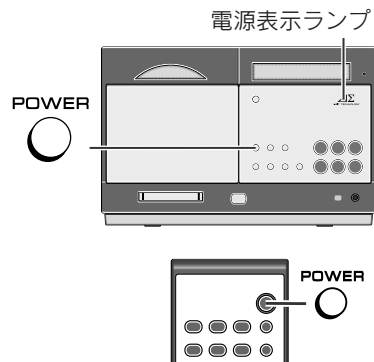
アース棒について

アースの接続（接地）は、万一の感電事故を防止することができます。アース棒を地中に埋めるか、または鉄製の水道管につないでください。危険ですので、ガス管にはつながないでください。

電源を入れる

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

■ 電源を入れるには



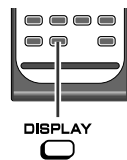
[POWER] を押す。

電源を切るには…

もう一度、[POWER] を押す。

- 電源が入ると、電源表示ランプが点灯します。
- 電源が入らないときは、電源コードが正しくつながっているか、リモコンの乾電池が正しく入っているか、確認してください。
- 電源を切ったあとの2～3秒は、すぐに電源が入りません。

■ 表示部の明るさを変えるには



電源を入れて…

[DISPLAY] を2秒以上押す。

押すたびに切り換わります。

表示を暗くする

DIMMER ON

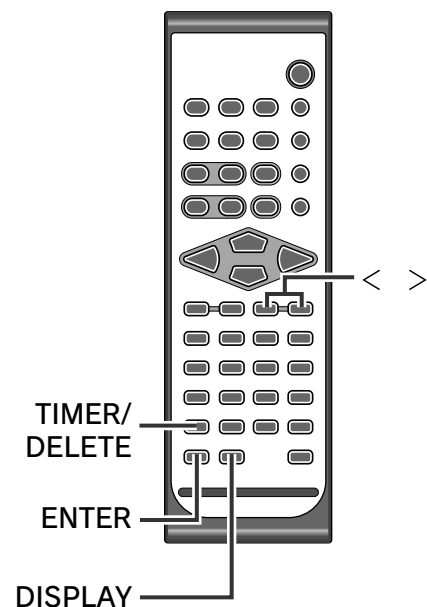
表示を明るくする

DIMMER OFF

時計を合わせる

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

時刻を合わせると、時計としてはもちろん、タイマー再生やタイマー録音ができるようになります。



(例) 午前9時30分に合わせるとき

- ① 電源を入れて…
[TIMER/DELETE] を押す。

SLEEP 1:00
- ② 10秒以内に…
[<] または [>] を押して、“TIME ADJUST” を選ぶ。

TIME ADJUST
- ③ 10秒以内に…
[ENTER] を押す。

AM 0:00
- ④ [<] または [>] を押して、“時” を合わせ、
[ENTER] を押す。

AM 9:00

「時」を合わせる

時刻は12時間制で表示されます。午前 (AM) / 午後 (PM) の表示に注意してください。
AM 0:00 → 夜の12時 PM 0:00 → 昼の12時
- ⑤ [<] または [>] を押して、“分” を合わせ、
[ENTER] を押す。

AM 9:30

「分」を合わせる

時計が動作し始め、約1.5秒たつと、もとの表示に戻ります。

■時刻を確認するには

電源“OFF”のときは…
[DISPLAY] を押す。
時刻が表示されて、約5秒たつと消えます。

電源“ON”のときは…
1. [TIMER/DELETE] を押す。
2. 10秒以内に、[<] または [>] を押して、時刻を表示させる。
約10秒たつと、もとの表示に戻ります。

■時刻を修正するには

操作1からやり直してください。このとき、操作1では“SLEEP”のかわりに“STANDBY”と表示されます。また、操作2では“TIME ADJUST”のかわりに現在の設定時刻が表示されます。

ご注意

電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、時計の設定は消えてしまいます。時計を合わせ直してください。

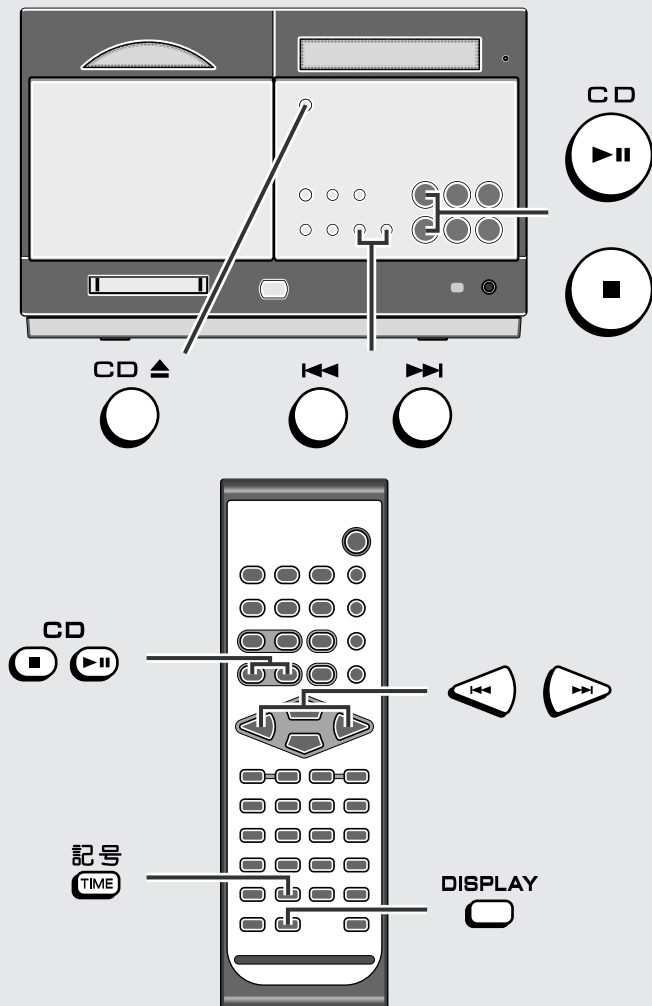
2 章

使う前の準備

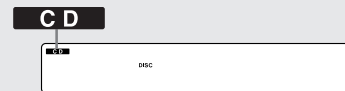
CDを聞く

3 章

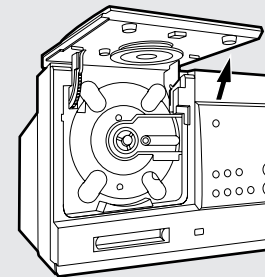
CD・MD・ラジオの聞きかた



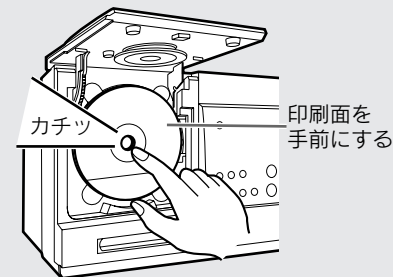
1 電源を入れて(P.16)…
[CD ■] を押して、
入力を「CD」にする。



2 [CD ▲] を押す。
CD カバーが開きます。



3 CDを入れる。
CDに傷をつけないように、
確実に装着してください。



4 [CD ▲] を押す。
CD カバーが閉じます。

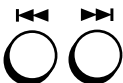


5 [CD ►||] を押して、再生を始める。

- 1 曲目から再生が始まり、最後の曲が終わると停止します。
- CD カバーが開いているときに [CD ►||] を押すと、CD カバーが閉じて再生が始まります。

■音量や音質を調整する P.25

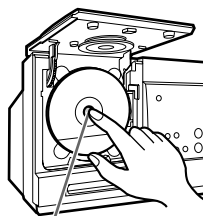
■ CD の再生中にできる操作

停止するには		再生中に押す。
一時停止するには		再生中に押す。 もう一度押すと、止めた位置から再生します。
曲の頭出しをするには		再生中または、停止中に押す。 停止中に聞きたい曲番を選んだあと、再生を始めるとその曲から再生します。
早送りや早戻しをするには		再生中に押し続ける。 ボタンから指を離すと、その位置から再生します。

■ CD を取り出すには

① CD を停止させたあと、[CD ▲] を押す。

② 中央の CD 取りはずしボタンを押して、CD を取り出す。



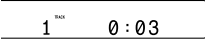
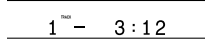
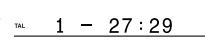
CD取りはずしボタン

③ [CD ▲] を押して、CD カバーを閉じる。

CD カバーが開いているときに、電源を切ると、CD カバーは閉じます。

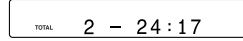
■ 時間表示を切り換える

再生中に、リモコンの [TIME] を押すたびに、切り換わります。

 ⇨  ⇨ 
曲ごとの再生経過時間 曲ごとの再生残り時間 総再生残り時間(※)

(※) ランダム再生中は、表示しません。

停止中に、リモコンの [TIME] を押すたびに、切り換わります。

 ⇨ 
選んだ曲の再生時間 選んだ曲以降の総再生残り時間

■ レベルメーターに切り換える

再生中に、リモコンの [DISPLAY] を押すたびに、切り換わります。

 ⇨ 
再生経過時間 レベルメーター

レベルメーターを表示すると、再生中はその表示になります。

ご注意

CD カバーは、手で無理に止めたり、動かしたりしないでください。
故障の原因となります。また、開閉中に指などをはさまないように注意してください。

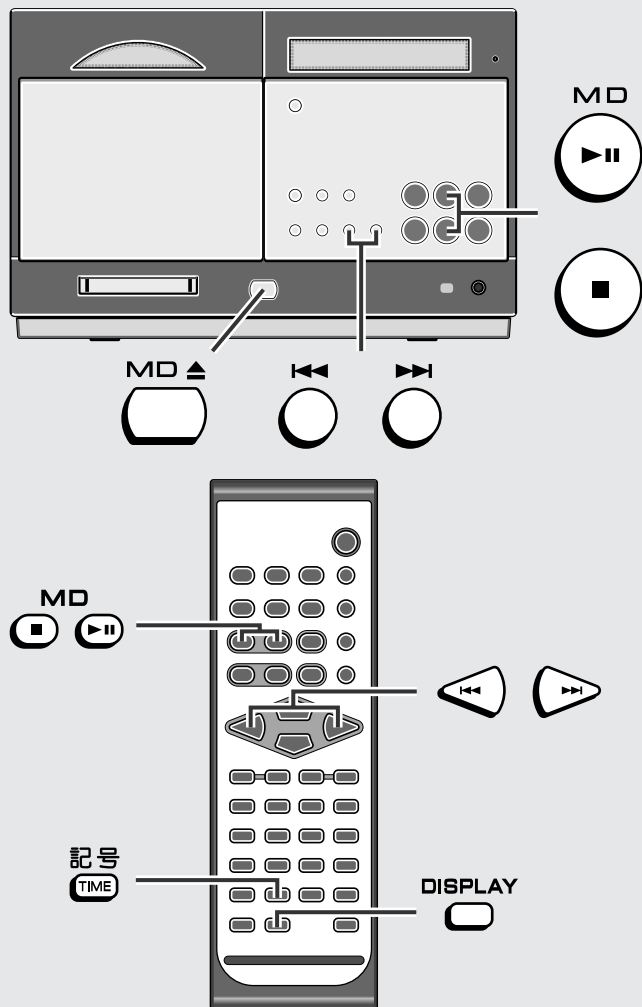
お知らせ

- CD の内容によっては、音量の上げすぎで音とびをおこすことがあります。
そのときは、音量を下げてお聞きください。
- ジャケットなどに記載されている再生時間には、曲間の無音時間が含まれていないものもあります。そのため、この製品での表示内容と合わないことがあります。
- 再生中の経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。
- CD-R・CD-RW の再生は、録音した機器やディスクの状態によって、正しく再生できないことがあります。
そのときは、CD-R・CD-RW を録音する機器の録音／記録スピードや、使用するディスクを換えてみると、再生可能になることがあります。
くわしくは、録音する機器の取扱説明書をごらんください。

MDを聞く

3 章

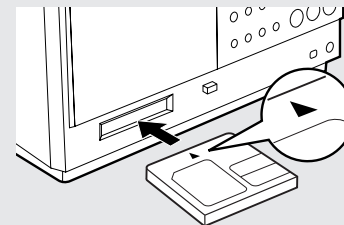
CD・MD・ラジオの聞きかた



1 電源を入れて(☞ P.16)…
[MD ■] を押して、
入力を「MD」にする。



2 MD を入れる。
ラベル面を上にして矢印マーク
の方向にMDを入れてください。



ディスク名 (ディスク名が記録さ
れている MD のみ表示)

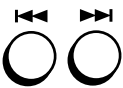
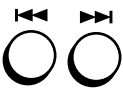
総曲数 総再生時間

- モノラル録音や2倍・4倍長時間録音(ステレオ)で録音された曲も録音されたときの録音モードに合わせて再生できます。(☞ P.28)
- グループで録音した MD を入れた場合は、自動的にグループモードになります。(☞ P.22)

3 [MD ▶||] を押して、再生を始める。
1 曲目から再生が始まり、最後の曲が終わると停止します。

■音量や音質を調整する (☞ P.25)

■ MD の再生中にできる操作

停止するには		再生中に押す。
一時停止するには		再生中に押す。 もう一度押すと、止めた位置から再生します。
曲の頭出しをするには		再生中または、停止中に押す。 停止中に聞きたい曲番を選んだあと、再生を始めるとその曲から再生します。
早送りや早戻しをするには		再生中に押し続ける。 ボタンから指を離すと、その位置から再生します。

■ MD を取り出すには

MD を停止させたあと、[MD ▲] を押す。

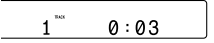
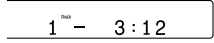
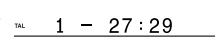
ご注意.....
MD を入れるときは、必ず電源を入れてください。
電源が切れているときに、無理にMDを押し込むと、故障の原因となります。

お知らせ.....

- マークがついている再生専用MD（市販ソフトなど）は、ディスク名などの文字情報が表示できます。
- ひらがなや漢字で入力されているMDは、ディスク名や曲名は表示されません。
- 使用中は、MD が温かくなりますが、異常ではありません。
- MDは振動に対して音とびしにくくなっていますが、連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。

■ 時間表示を切り換える

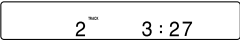
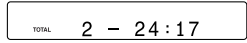
再生中に、リモコンの[TIME]を押すたびに、切り換わります。

 ⇨  ⇨ 
曲ごとの再生経過時間 曲ごとの再生残り時間 総再生残り時間(※)

(※) ランダム再生中は、表示しません。

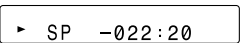
(※) グループモードのときは、選んだ曲が入っているグループの総再生残り時間を表示します。

停止中に、リモコンの[TIME]を押すたびに、切り換わります。

 ⇨ 
選んだ曲の再生時間 選んだ曲以降の総再生残り時間

■ 曲名表示やレベルメーターに切り換える

再生中に、リモコンの[DISPLAY]を押すたびに、切り換わります。

 ⇨ 
再生経過時間 曲名 (※ 1)
⇨  ⇨ 
録音残り時間 レベルメーター (※ 3)

(※ 1) 曲名が記録されていないときは“NO NAME”と表示します。

(※ 2) : モノラル録音された曲は“M”と表示します。

(※ 3) レベルメーターを表示すると、再生中はその表示のままになります。
MD を取り出すと、もとの表示に戻ります。

お知らせ.....

- ジャケットなどに記載されている再生時間には、曲間の無音時間が含まれていないものもあるため、この製品での表示内容と合わないことがあります。
- 再生中の経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。
- 再生専用MDは、録音残り時間は表示されません。

3 章

C D ・ M D ・ ラ ジ オ の 聞 き か た

3 章

CD・MD・ラジオの聞きかた

■ グループ録音された MD の再生動作について

グループ録音(P.29)された MD を使用すると、設定されたアルバムごとやアーティストごとなど、好みのグループ別に再生することができます。

グループ録音例：

このようにグループ分けしたMDの場合

グループにしなかった曲は、「ノングループ」になります。
(「NON GROUP」と表示)

グループ1				ノングループ				グループ2				グループ3				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A 曲	B 曲	C 曲	D 曲	E 曲	F 曲	G 曲		H 曲	I 曲	J 曲	K 曲	L 曲	M 曲	N 曲	O 曲	P 曲			

グループモードに設定したとき（「GROUP」が点灯）

グループごとに曲番が1から始まります。
グループを選んで再生することができます。

グループ1				ノングループ				グループ2				グループ3				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A 曲	B 曲	C 曲	D 曲	E 曲	F 曲	G 曲		H 曲	I 曲	J 曲	K 曲	L 曲	M 曲	N 曲	O 曲	P 曲			

グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A 曲	B 曲	C 曲	D 曲	H 曲	I 曲	J 曲	K 曲	L 曲	M 曲	N 曲	O 曲	E 曲	F 曲	G 曲	P 曲

すべてのノングループの曲は最後に再生します。

グループモードを解除したとき（「GROUP」が消灯）

連続した曲番になります。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
A 曲	B 曲	C 曲	D 曲	E 曲	F 曲	G 曲	H 曲	I 曲	J 曲	K 曲	L 曲	M 曲	N 曲	O 曲	P 曲

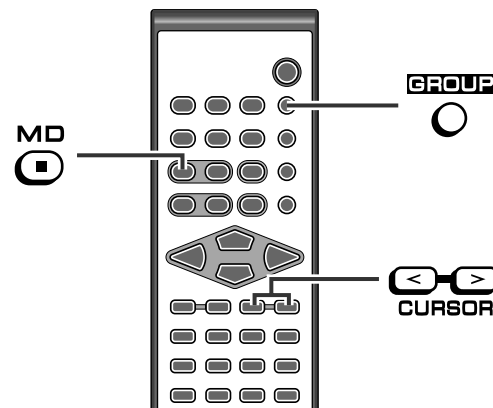
■ 聞きたいグループを選ぶには

- ① グループ録音した MD を入れると、自動的にグループモードになります。（「GROUP」点灯）
（最初のグループを表示します。）
MD を取り出すと、グループモードは解除されます。
- ② [GROUP] をくり返し押して、聞きたいグループを選ぶ。
リモコンの[<]または[>]を押しても選ぶことができます。

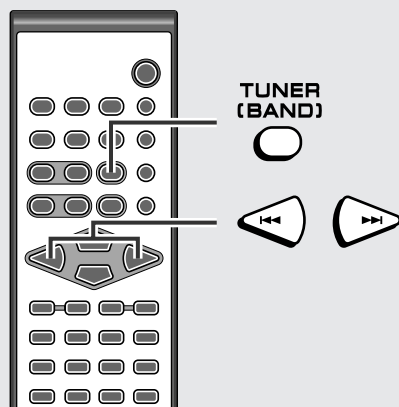
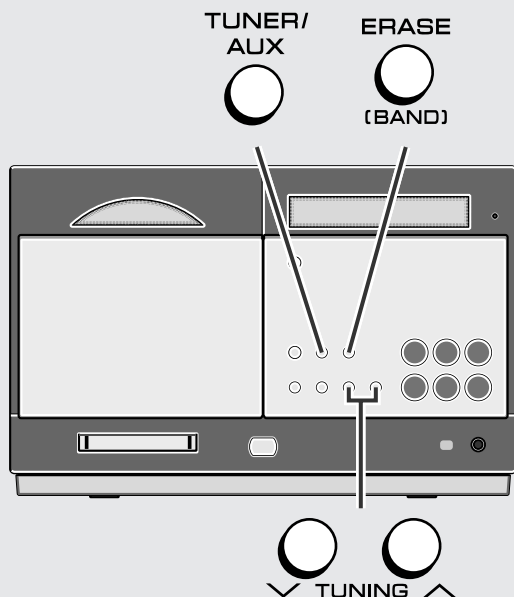
グループモードを解除するには

停止中に、[GROUP] をくり返し押して、「GROUP」を消灯させる。

[MD ■] を2秒以上押しても解除することができます。



ラジオ放送を聞く



- 1** 電源を入れて(☞ P.16)…
[TUNER/AUX] を押し
チューナー
て、「TUNER」を選ぶ。



- 2** [BAND] を押し、^{ステレオ}“FM STEREO”、
“FM” または “AM” を選ぶ。

- 3** [TUNING ∨ ∧] を押し、放送局を選ぶ。

自動同調：ボタンを0.5秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。

手動同調：ボタンを小さく押し、希望する放送局を受信します。

リモコンの [◀▶] または [▶▶] でも、放送局を選ぶことができます。

■音量や音質を調整する (☞ P.25)

FM ステレオ放送の受信について

[BAND] を押し、“STEREO” 表示を点灯させる。

STEREO 表示 (点灯)	FM ステレオモード
STEREO 表示 (消灯)	FM モノラルモード

FM ステレオ放送を受信すると “**ST**” 表示が点灯します。



FM ステレオ放送を受信しても電波が弱いと “**ST**” が点灯しません。
このときは、音が出ませんので、FM モノラルモードに切り換えてください。

3 章

CD・MD・ラジオの聞きかた

3 章

CD・MD・ラジオの聞きかた

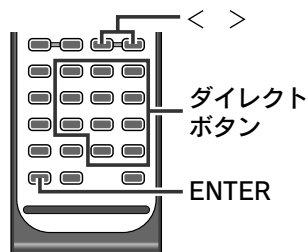
■ 放送局を登録するには

放送局は、AM 放送・FM 放送を合わせて、40 局まで登録できます。

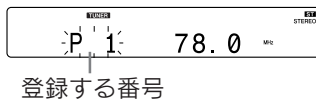
1 登録したい放送局を受信する。

FM 放送のときは、ステレオ・モノラルのモードも記憶されます。

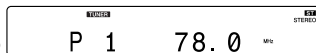
2 リモコンの [ENTER] を押して、登録モードにする。



3 5 秒以内に… リモコンの [<] または [>] を押して、登録する番号を選ぶ。



4 5 秒以内に… リモコンの [ENTER] を押す。



すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。

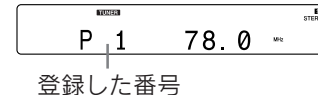
他の放送局を登録するには、操作 1 からの手順をくり返します。

ご注意.....

一日以上電源コードを抜いていたり、停電があると、登録した放送局は消えます。そのときは、もう一度登録し直してください。

登録した放送局を呼び出すには

リモコンの [<] または [>] を押して、登録した番号を選ぶ。



リモコンの [ダイレクトボタン] で呼び出すとき：

1 ~ 10 局目… [1] ~ [10/0] で登録した番号を選ぶ。
11 ~ 40 局目… [>10] を押したあと、登録した番号を選ぶ。

(例) 28 局目 [>10] → [2] [8]

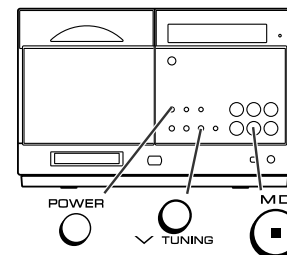
ボタンを続けて押すときは、5 秒以内に操作してください。

登録した放送局をすべて消すには

電源が切れた状態で…

[TUNING ∨] と [MD ■] を押しながら [POWER] を押す。

“チューナーTUNER CLEARクリアー”と表示されます。



お知らせ.....

• テレビ音声は次の周波数で受信できます。

- 1 チャンネル : FM 95.75MHz
- 2 チャンネル : FM 101.75MHz
- 3 チャンネル : FM 107.75MHz

- 自動同調しているとき、周囲に妨害電波があると、そこで停止することがあります。そのときは、手動同調をお使いください。
- この製品のテレビ音声受信回路は、FM 放送受信回路と兼用しています。このため、地域によっては、テレビの 2 または 3 チャンネルの音声を受信したときに、FM 放送が混信することがあります。
- テレビ音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声や AM 放送は、モノラルで受信されますので、ステレオにはなりません。

音量や音質を調整する

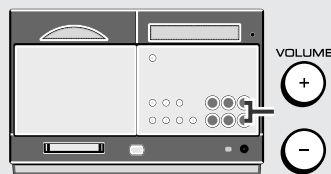
1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

音量を調整する (ボリューム)

[VOLUME - +] を押す。

VOLUME 20

音量 0 (小) ~ 40 (大)



音の広がりを設定する (サラウンド)

リモコンの [SURROUND] を押す。

押すたびに切り換わります。

強調する

1 2:13

点灯

強調しない

1 2:13

消灯

お知らせ

サラウンドを切り換えると、プリセットイコライザーは“FLAT”になります。また、プリセットイコライザーを切り換えると、サラウンドの設定は解除されます。

音質を変える

(プリセットイコライザー)

リモコンの [PRE-EQ] を押す。

1 回押すと現在の設定を表示し、表示中に続けて押すと、切り換わります。

フラットな音質

FLAT

低音と高音を強調する音質

HEAVY

ボーカル (中域) を強調する音質

VOCAL

高音を抑えた音質

SOFT

重低音を強調する

(エキサイティングバス)

リモコンの [X-BASS] を押す。

1 回押すと現在の設定を表示し、表示中に続けて押すと、切り換わります。

強調する

X-BASS ON

強調しない

X-BASS OFF

3 章

CD・MD・ラジオの聞きかた

録音する前に、知っておいていただきたいこと

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

4 章

MDへの録音

■ 試し録音について

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
(CD から MD に試し録音するときは、定速で録音してください。)
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。

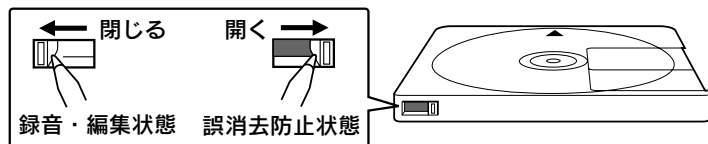
■ 音楽著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(P.60)

■ MD の誤消去防止について

MD に録音や編集をするときは、誤消去防止用ツマミが閉じていることを確かめてください。

録音が終わったあとは、大切な録音を誤って消さないために、誤消去防止用ツマミを開いておくことをおすすめします。

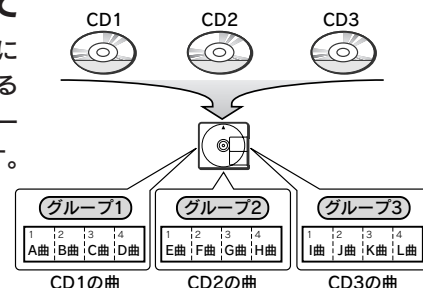


お知らせ

- 録音中に、音量・音質などを調整しても、録音には影響ありません。
- 録音中、本体に衝撃や振動を与えないでください。
音とびを起こす原因となります。
- 再生専用 MD (市販の音楽ソフト) には録音できません。

■ グループ録音について

歌手やアルバムごとに、グループに分けて録音 (最大 99 グループ) することができます。その MD は、グループを選んで再生することができます。



グループモードを設定して録音すると...

グループ1				グループ2				グループ3			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A 曲	B 曲	C 曲	D 曲	E 曲	F 曲	G 曲	H 曲	I 曲	J 曲	K 曲	L 曲

グループごとに曲番が 1 から始まります。

グループモードを解除して録音すると...

ディスク名											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A 曲	B 曲	C 曲	D 曲	E 曲	F 曲	G 曲	H 曲	I 曲	J 曲	K 曲	L 曲

連続した曲番になります。

お知らせ

- ディスク名がグループ録音に適していないときに、グループ録音の操作をすると、“? Gr Form.” のあと “NewForm.OK?” と表示されることがあります。その場合、ディスク名を消さないでグループ録音ができません。

ディスク名を消しても良いときは：

[ENTER] を押してください。

ディスク名を消したくないときは：

[MD ■] を押して、録音を停止してください。

- グループ録音した MD を他の機器で録音または編集すると正しく動作しないことがあります。
- グループ機能に対応した他の機器で録音した MD をこの製品で使用すると、正しく動作しないことがあります。

■ 倍速録音の制約について

この製品は、CDからMDへ録音をするとき通常の半分の時間で録音することができます。(倍速録音)

倍速録音では、著作権保護を目的とした制約があります。

著作権保護を目的とした制約

CDからMDへ一度倍速録音をしたあと、再び同じCDから倍速録音するときは、次に録音を始めるまでの、待ち時間が必要となります。

たとえば、CDからMDへの倍速録音が40分間で終了した場合、再び同じCDから倍速録音をするときには、34分間お待ちいただくことになります。



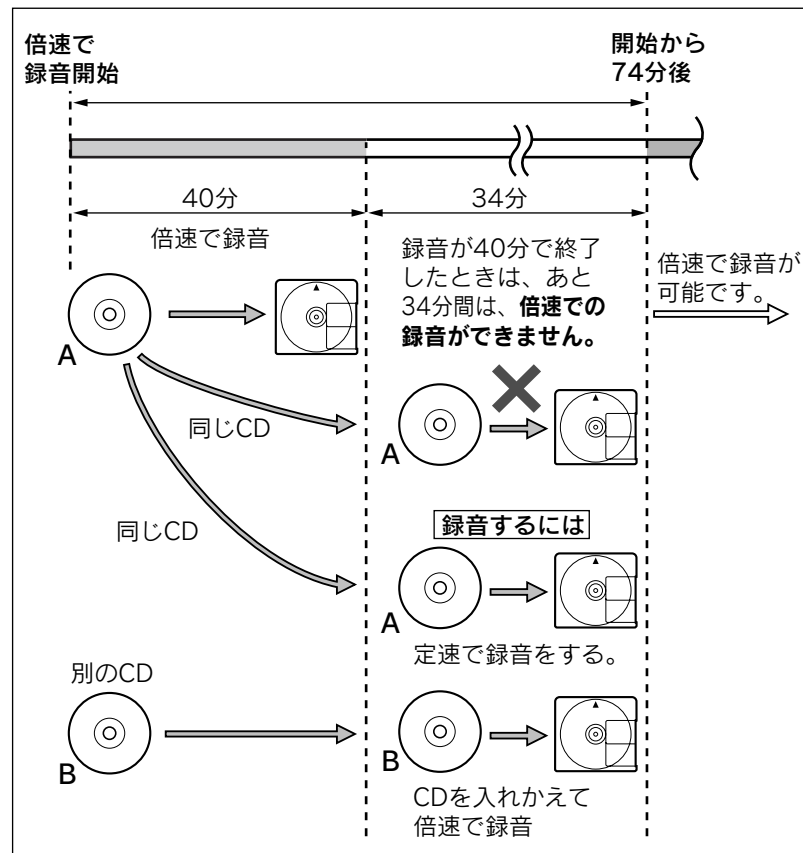
- 同じCDは、1回目の倍速録音を開始してから74分経過した後で、2回目の倍速録音が可能になります。
- 同じCDから74分以内に2回目の録音をしたい場合は、定速で録音してください。

次のようなときも、74分間は、倍速で録音をすることができません。

- 倍速録音を途中で止めたり、1曲でも倍速録音したCDから、もう一度録音しようとしたとき。
- 20枚のCDから倍速録音したあと、21枚目を録音しようとしたとき。

お知らせ

- 倍速の録音中は、通常の2倍の速度でCDの音が再生されます。
- 倍速の録音中に、音量・音質などを調整することができますが、録音される音声は変わりません。

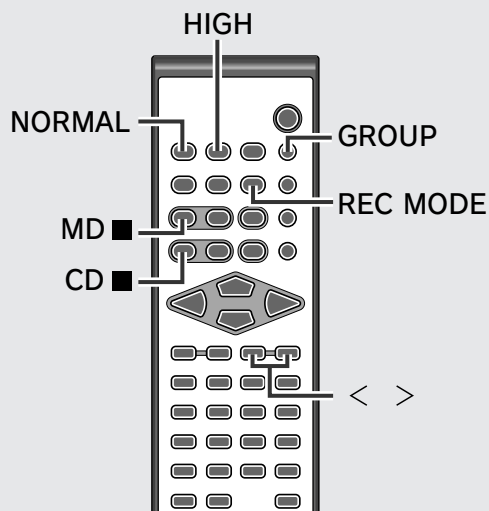
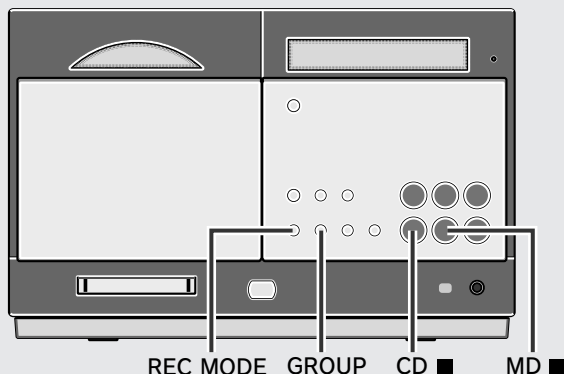


CDの1曲目から順番に録音する

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

4章

MDへの録音



1 電源を入れて…
再生するCDと、録音用MDを入れる。

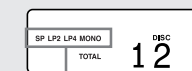
2 [CD ■] を押して、入力を「CD」にする。



3 [REC MODE] を押して、録音モードを選ぶ。

押すたびに切り換わります。

SP→LP2→LP4→MONO



録音モード表示

表示	録音モード	録音時間 (80分のMDに録音する場合)
SP	ステレオ録音	最大 80 分
LP2	2 倍長時間録音 (ステレオ)	最大 160 分
LP4	4 倍長時間録音 (ステレオ)	最大 320 分
MONO	モノラル録音	最大 160 分

- 録音中は切り換えができません。
- 録音モードの設定は、次に変更するまで変わりません。
- 本体の [REC MODE] を押すと、録音の一時停止状態になり、くり返し押すと録音モードを選ぶことができます。

4 録音を開始する。

倍速で録音するとき

[HIGH] を押す。

定速で録音するとき

[NORMAL] を押す。

- 録音はデジタル録音になります。
- CDの再生が終わるか、MDの録音残り時間がなくなると、CDとMDは自動的に停止します。

■ グループモードを設定して録音するには

- ① 電源を入れて…
再生するCDと、録音用MDを入れる。
- ② [CD ■] を押して、入力を「CD」にする。
- ③ リモコンの[REC MODE]を押して、録音モードを選ぶ。
- ④ [GROUP] を押して、“GROUP”を点灯させる。
グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。

- ⑤ **倍速で録音するとき** [HIGH] を押す。 **定速で録音するとき** [NORMAL] を押す。

- ⑥ [GROUP] を押して、録音したいグループを選ぶ。
新しいグループにすると →
すでにあるグループに追加したいとき
↑
グループにしないとき ←
↓
グループ名が記録されているとグループ名が表示されます。
- リモコンの[<] または [>] を押しても、選ぶことができます。

- ⑦ 録音を開始する。
[HIGH] をもう一度押す。 [NORMAL] をもう一度押す。

■ 録音を停止するには

[CD ■] または [MD ■] を押す。
CD と MD が停止したあと、MD に曲番を書き込みます。
録音中に一時停止することはできません。

■ 曲番について

CD から録音したときは、CD と同じ位置に曲番がつきます。

	1曲目	2曲目	3曲目
CD	A曲	B曲	C曲
		↓	
録音されたMD	1曲目	2曲目	3曲目
	A曲	B曲	C曲

CD によっては、CD の曲番と録音された MD の曲番が一致しないことがあります。

■ MD の 4 倍長時間録音 (LP4) についてのご注意

4 倍長時間録音 (LP4) は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が入ることがあります。音質を重視する録音を行うときには、ステレオ録音 (SP) または 2 倍長時間録音 (LP2) をおすすめします。

お知らせ

- 2 倍・4 倍長時間録音 (LP2・LP4) をした曲は、2 倍・4 倍長時間再生に対応していない機器では再生できません。
対応していない機器で再生すると、^{ノット} “NOT AUDIO” が表示され、無音状態となります。
(機器によっては、動作や表示の内容が異なる場合があります。)
- CD のキズ、汚れや記録状態により、倍速で録音した MD に音切れや雑音が生じることがあります。このときは、定速で録音してください。

4 章

MD への録音

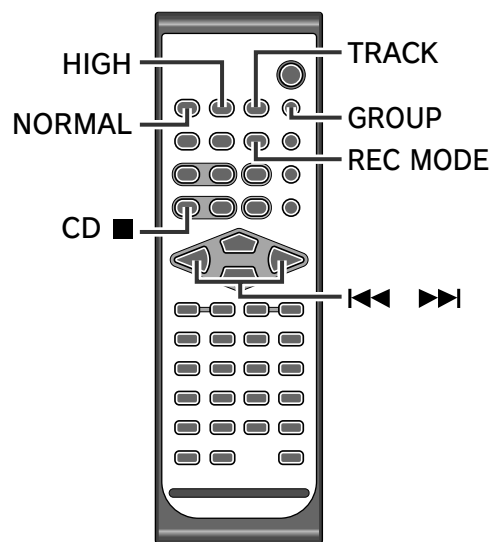
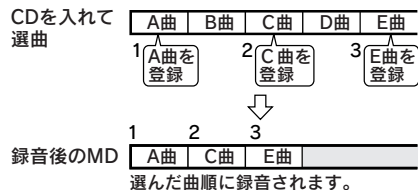
CDの好きな曲だけを録音する (マイトラックエディット)

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

4 章

MDへの録音

録音したい曲を登録して、あとでまとめて登録した順番に録音することができます。



1 CDとMDを入れて…
[CD ■] を押して、入力を「CD」にする。

2 [REC MODE] を押して、録音モードを選ぶ。

3 [I◀◀] または [▶▶I] を押して、曲番を選ぶ。

4 [TRACK] を押して、
曲番を登録する。

TOTAL 3▶ 4:12 T-EDIT
登録した曲番 点灯

5 3～4の操作をくり返して、録音したい曲を登録する。
20曲まで登録できます。
21曲以上選曲すると、“エディット オーバーEDIT OVER”が表示され、その曲は登録されません。

6 [HIGH] または [NORMAL] を押して、録音を開始する。

録音が終わると、曲の登録は消えます。

録音が終わり、MDの録音残り時間がなくなると、CDとMDは自動的に停止します。

■ CDを聞きながら登録するには

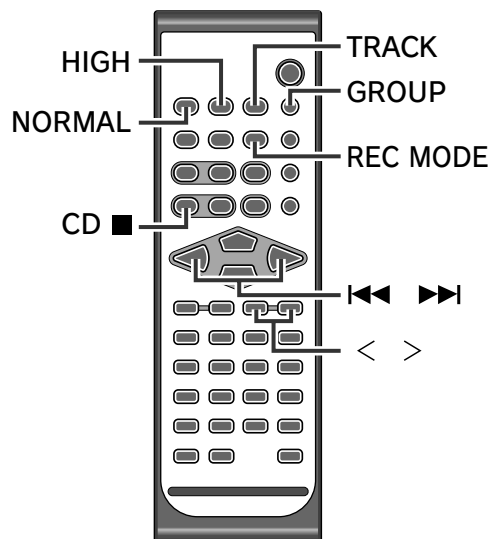
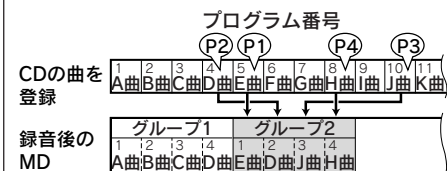
1. CDを再生中に録音したい曲がでたら、
[TRACK] を押す。
曲が登録されます。(20曲まで登録できます。)
2. 登録が終わったら、[CD ■] を押して、再生を止める。
3. [HIGH] または [NORMAL] を押して、録音を開始する。

■ 録音を開始する前に曲の登録を取り消すには
停止中に、[CD ■] を押す。

お知らせ ……………

- マイトラックエディットで選曲をしているときは、「CD」から他の入力に切り換えることができません。他の入力にしたいときは、選曲を解除してください。
- プログラム選曲やランダム再生を設定しているときは、マイトラックエディットは使用できません。プログラム選曲やランダム再生を解除してください。
- リピート再生を設定しているときに、マイトラックエディットを使用すると、録音中はリピート再生が解除されます。

録音したい曲を登録して、登録した順番でグループに録音することができます。



■ グループモードを設定して録音するには

- ① CD と MD を入れて…
[CD ■] を押して、入力を「CD」にする。
- ② [GROUP] を押して、“GROUP” を点灯させる。
グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。
- ③ [REC MODE] を押して、録音モードを選ぶ。
- ④ [I<<] または [I>>] を押して、曲番を選ぶ。
- ⑤ [TRACK] を押して、
曲番を登録する。

TOTAL 3 4:12 T-EXT
登録した曲番 点灯
- ⑥ 4～5の操作をくり返して、録音したい曲を登録する。
20 曲まで登録できます。
21 曲以上選曲すると、“エディット オーバーEDIT OVER” が表示され、その曲は登録されません。
- ⑦ [HIGH] または [NORMAL] を押して、録音の一時停止状態にする。
- ⑧ [GROUP] を押して、録音したいグループを選ぶ。
[<] または [>] を押しても、選ぶことができます。
- ⑨ [HIGH] または [NORMAL] を押して、録音を開始する。

録音が終わると、曲の登録は消えます。

■ 録音を開始する前に曲の登録を取り消すには
停止中に、[CD ■] を押す。

お知らせ ……………

- グループを 99 個以上作ったときは、マイトラックエディットでのグループ録音はできません。
ノングループへの録音となります。

4 章

MD への録音

CD の選んだ曲番から録音する

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

4 章

MD への録音

① CDとMDを入れて…
リモコンの[CD ■]を押して、入力を「CD」にする。

② [GROUP]を押して、グループモードを選ぶ。
グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。

③ [●REC]を押して、録音の一時停止状態にする。

④ [REC MODE]を押して、録音モードを選ぶ。

グループ録音するときのみ

⑤ [GROUP]を押して、録音したいグループを選ぶ。
リモコンの[<]または[>]を押しても選ぶことができます。

⑥ [◀◀] または [▶▶] を押して、録音したい曲番を選ぶ。

⑦ [CD ▶||] を押して、録音を開始する。
CDの再生が終わると、MDも自動的に停止し、録音の一時停止状態になります。

■ 録音レベルの調整について

CDの音声レベルが低いときや、高いときは、録音をする前に録音レベルを調整することができます。録音の一時停止状態にする前に、以下の操作をしてください。

① [CD ▶||]を押して、録音したい曲を再生する。

② [●REC]を押して、録音の一時停止状態にする。

③ リモコンの[REC LEVEL - +]を押して、録音レベルを調整する。

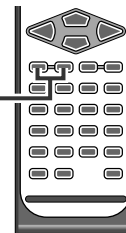
- 4dB ~ + 10dB

R. LEV. +4dB



レベルメーター 0dB

REC LEVEL - +



- 最も大きなレベルで“0dB”をこえないようにします。
- 録音レベルは-4dBから+10dBまで、2dBステップで調整することができます。

④ [CD ■] を押して、CDを停止する。

このあと、[●REC]を押す必要はありません。
(操作 ③ は不要です。)

お知らせ ……………

- 録音レベルは前回調整したレベルを覚えています。
- [HIGH] または [NORMAL] で録音を開始したときは、録音レベルは調整できません。

録音を停止するには

[MD ■] を押す。

CDの曲の好きなところから録音する (マニュアル録音)

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

CDの曲の好きな部分だけを録音することができます。



- 1 CDとMDを入れて…
リモコンの[CD ■]を押して、入力を「CD」にする。
- 2 CDを再生中に、録音したいところで[CD ▶II]を押す。
CDの一時停止状態になります。
- 3 [REC MODE]を押して、録音モードを選ぶ。
- 4 [● REC]を押して、録音の一時停止状態にする。
- 5 [CD ▶II]を押して、録音を開始する。

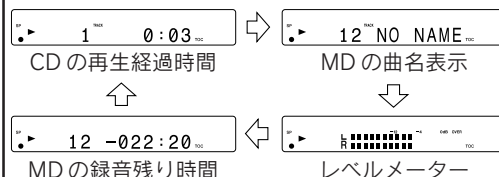
録音を停止するには

[MD ■]を押す。

このときは、倍速で録音することはできません。

■ 表示を切り換える

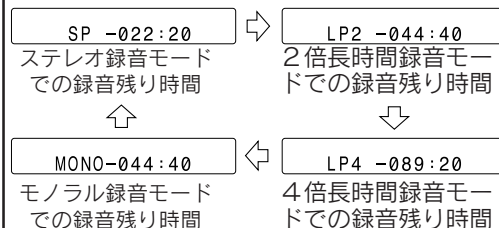
録音中に、リモコンの[DISPLAY]を押すたびに切り換わります。



- レベルメーターやMDの録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。
- モノラル録音モード(MONO)にしても、録音中のレベルメーターはステレオ表示されます。

■ 録音モードや録音残り時間を確かめる

停止中に、入力をMDにして、リモコンの[REC MODE]を押すたびに切り換わります。



- 録音残り時間を表示したあと、もとの表示に戻ります。
- 次に録音を開始するときは、ここで確認したモードで録音を開始します。

■ ^{トック}TOC (Table of Contents) について

TOCとは、曲番や音声を認識するための目次情報です。再生時の頭出しがすばやくできたり、空いている場所に録音できるのは、このTOCでMD全体を管理しているからです。録音や編集をすると、画面に“TOC”が表示されます。

“TOC”の表示中は…



“TOC”の点滅中は…



“TOC”が消灯すると…



ご注意

“TOC”が表示中または点滅中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。録音や編集した情報が記録されません。

4 章

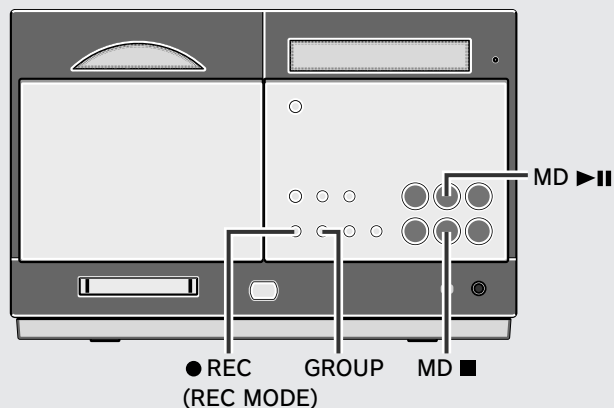
MDへの録音

ラジオ放送を録音する

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

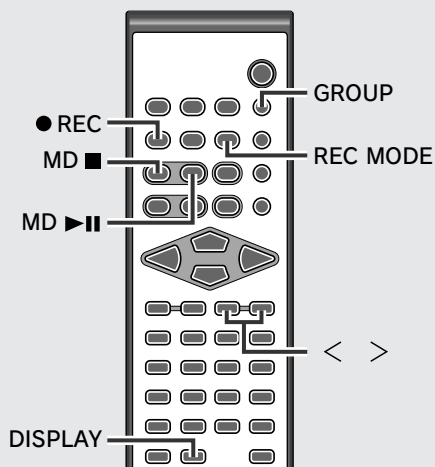
4 章

MDへの録音



- 1 電源を入れて…
録音用MDを入れる。
- 2 録音したい放送局を受信する。(P.23)
- 3 [● REC] を押して、録音の一時停止状態にする。
- 4 [REC MODE] を押して、録音モードを選ぶ。
(P.28)
- 5 [MD ►||] を押して、録音を開始する。

MDの録音残り時間がなくなると、MDは自動的に停止します。



録音を一時停止するには

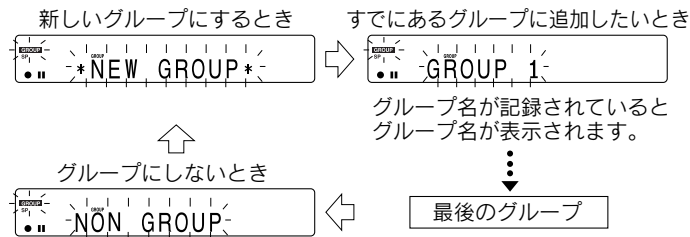
録音中に、[MD ►||] を押す。
もう一度押すと、録音を再開します。

録音を停止するには

録音中に、[MD ■] を押す。
MDに曲番を書き込んだあと、MDが停止します。

■ グループモードを設定して録音するには

- ① 電源を入れて…
録音用MDを入れる。
- ② 録音したい放送局を受信する。(P.23)
- ③ [GROUP] を押して、“GROUP” を点灯させる。
グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。
- ④ [● REC] を押して、録音の一時停止状態にする。
- ⑤ [REC MODE] を押して、録音モードを選ぶ。(P.28)
- ⑥ [GROUP] を押して、録音したいグループを選ぶ。



リモコンの [＜] または [＞] を押しても、選ぶことができます。

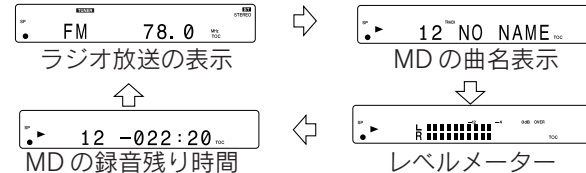
- ⑦ [MD ▶II] を押して、録音を開始する。
MD の録音残り時間がなくなると、MD は自動的に停止します。

お知らせ

- AM放送を録音するときは、録音の一時停止中に、AMアンテナを本体から離して、AM放送が最もきれいに聞こえるように調整しておいてください。
- 録音レベルは、調整することができません。

■ 表示を切り換える

録音中に、リモコンの [DISPLAY] を押すたびに切り換わります。



- レベルメーターやMDの録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。
- モノラル録音モード (MONO) にしても、録音中のレベルメーターはステレオ表示されます。

■ 曲番について

ラジオ放送から録音したときは、1回の録音がひと続きの曲として録音されます。

	1曲目	2曲目	3曲目
ラジオ放送	A曲	B曲	C曲
	↓		
録音されたMD	(A曲)	(B曲)	(C曲)

録音を停止したり、一時停止すると…

次に録音を再開したときは、曲番が1つ増えます。

■ 録音中に自分で曲番をつけるには

曲番をつけたい位置で… [● REC] を押す。

曲番が1つ増えて、録音はそのまま続きます。
曲番をつけたあと、約4秒間は次の曲番をつけることができません。

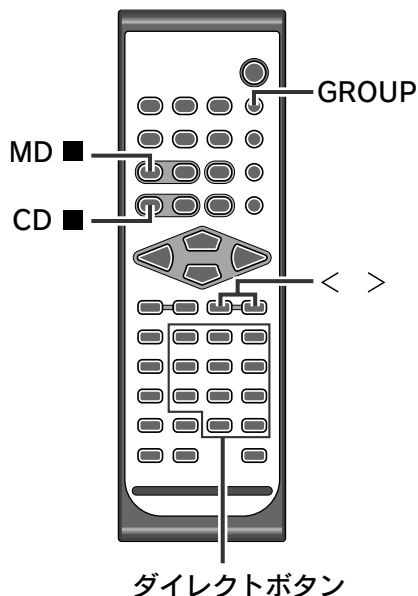
聞きたい曲から聞く (ダイレクト選曲)

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

CDやMDの聞きたい曲から再生することができます。

5 章

CDやMDのいろいろな聞きかた



CD を操作するとき

- 1 CD を入れたあと…
[CD ■] を押す。

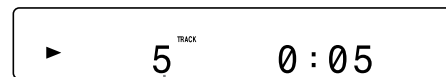
MD を操作するとき

- MD を入れたあと…
[MD ■] を押す。

グループで録音した MD を入れたとき

- 2 [GROUP] を押して、聞きたい曲のあるグループを選ぶ。
[<] または [>] を押しても選ぶことができます。

- 3 [ダイレクトボタン] で、聞きたい曲番を指定する。



指定した曲から、再生が始まります。

曲番 (10 曲目以降) の指定のしかた

11 ~ 99 曲目を指定するときは、[> 10] を押して指定する。

例) 28 曲目 [> 10] → [2] [8]

100 曲目以降 (MD のみ) は、[> 10] を 2 回押して指定する。

例) 105 曲目 [> 10] [> 10] → [1] [10/0] [5]

お知らせ

- グループで録音した MD を入れたときは、自動的にグループモードになります。(P.22)
- ダイレクトボタンを続けて押すときは、5 秒以内に操作してください。
- ランダム再生 (P.37) やプログラム選曲 (P.38) を設定しているときは、ダイレクト選曲はできません。

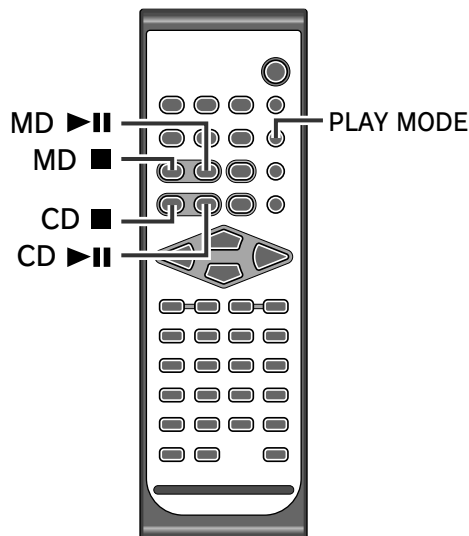
くり返して聞く・順不同で聞く (リピート再生・ランダム再生)

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

5 章

CDやMDのいろいろな聞きかた

くり返し再生 (リピート再生) したり、
順不同で再生 (ランダム再生) するこ
とができます。
CD や MD を別々に設定することがで
きます。



CD を操作するとき

MD を操作するとき

- 1 CD を入れたあと… [CD ■] を押す。 MD を入れたあと… [MD ■] を押す。

- 2 [PLAY MODE] を押して、再生モードを選ぶ。

ノーマル再生

リピート再生

ランダム再生

NORMAL

REPEAT

点灯

RANDOM

RANDOM 点灯

- 3 再生を開始する。

[CD ▶II] を押す。

[MD ▶II] を押す。

■聞きたい曲だけをくり返して聞くには
プログラム選曲 (P.38) をしたあとに、リピート再生をします。

■聞きたい1曲だけをくり返して聞くには
プログラム選曲 (P.38) で1曲登録したあとに、リピート再生をします。

お知らせ

- リピート再生は、止めるまで続きます。お聞きになったあとは、必ず停止してください。
- CD や MD の再生中に再生モードを切り換えると、その時点からリピート再生またはランダム再生されます。
- MD のリピート再生やランダム再生の設定は、MD の録音操作をすると、解除されます。
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。
(自分で選曲できません。)
- プログラム選曲を設定しているときは、ランダム再生はできません。

	CDのとき/MDのグループモードを解除したとき ("GROUP" 消灯) の動作	MDのグループモードにしたとき ("GROUP" 点灯) の動作
リピート再生	全曲をくり返し再生します。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 A曲 B曲 C曲 D曲 H曲 I曲 J曲 K曲 E曲 F曲 G曲 ↑----- 停止するまでくり返す ----->	全曲をくり返し再生します。 グループ1 グループ2 ノングループ 1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 A曲 B曲 C曲 D曲 H曲 I曲 J曲 K曲 E曲 F曲 G曲 ↑----- 停止するまでくり返す ----->
ランダム再生	全曲を順不同に再生したあと、停止します。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 A曲 B曲 C曲 D曲 H曲 I曲 J曲 K曲 E曲 F曲 G曲 順不同に再生	グループ内で順不同に再生し、全曲再生後停止します。 グループ1 グループ2 ノングループ 1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 A曲 B曲 C曲 D曲 H曲 I曲 J曲 K曲 E曲 F曲 G曲 順不同に再生 → 順不同に再生 → 順不同に再生

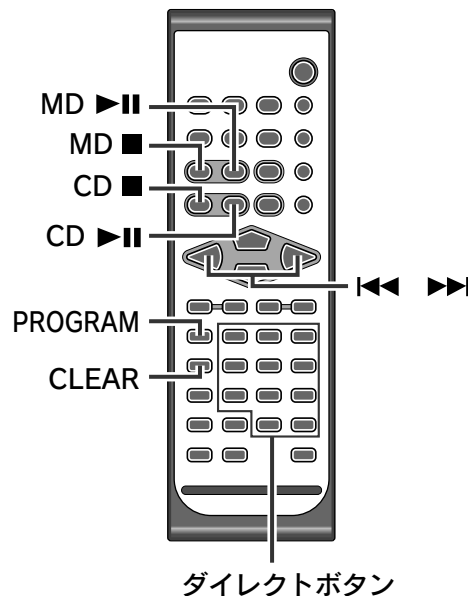
好きな曲だけを記憶させて聞く (プログラム選曲)

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

CDやMDの好きな曲を、好きな順に再生することができます。
(CDとMDは別々に、それぞれ20曲まで選べます。)

5 章

CDやMDのいろいろな聞きかた



CD を操作するとき

MD を操作するとき

1 CDを入れたあと…
[CD ■] を押す。

MDを入れたあと…
[MD ■] を押す。
表示部に“GROUP”が点灯したら、
消灯させてください。(P.22)

2 [PROGRAM] を押す。

PROGRAM
PROGRAM
点滅

3 [ダイレクトボタン] で、聞きたい曲番を指定する。

7 P 1
曲番 プログラム番号
TOTAL 7 5:27
再生時間

MDの曲名を確認しながら登録するときは

ダイレクトボタンを押すかわりに、[◀◀] または [▶▶] を押して、聞きたい曲番を選び、[PROGRAM] を押します。

曲番を間違えたときは

登録中に、[CLEAR] を押すと、最後に選んだ曲が取り消されます。続けて押すと、順に取り消されます。

4 3の操作をくり返し、聞きたい曲番を順に指定する。
総再生時間が400分を超えると“--:--”が表示されますが、記憶はされています。

5 登録が終わったら…
[CD ■] を押す。

[MD ■] を押す。

6 再生を開始する。
[CD ▶II] を押す。

[MD ▶II] を押す。

最後に登録している曲の再生が終わると、自動的に停止します。

CDやMDを取り出すまで、曲の登録を覚えています。

■登録した順番を確かめるには
停止中に、[◀◀] または [▶▶] を押します。

■曲を追加するには
①～⑤の操作をくり返します。
・前に選んでいる曲のあとに、追加されます。
・曲の順番を入れ換えることはできません。

■登録を取り消すには
1. [CD ■] または [MD ■] を押す。
2. 停止中に[CLEAR]を押す。
・CD または MDの全曲の登録が取り消されます。

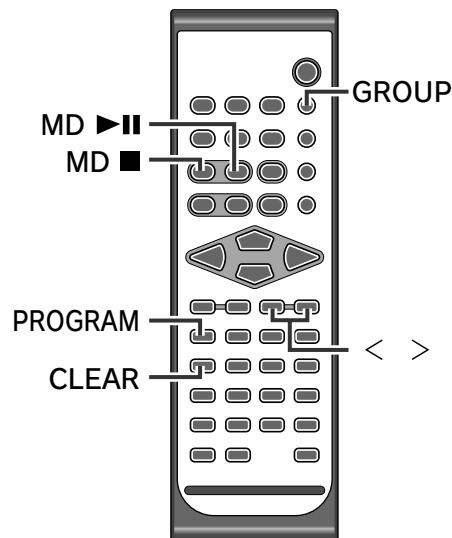
お知らせ ……………

- ・再生中や一時停止中には、曲を登録したり、取り消すことはできません。
- ・MDのプログラム選曲の設定は、録音操作をするときと解除されます。
- ・CDをプログラム選曲して、録音することができます。(録音が終わっても、曲の登録は覚えていきます。)
- ・MDのプログラム選曲をしているときは、グループモードに設定することができません。

好きなグループだけを記憶させて聞く (グループプログラム選曲)

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

グループ録音されたMDでは、好きなグループを好きな順に再生することができます。(最大 10 グループ)

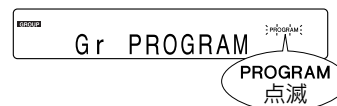


① [MD ■] を押す。

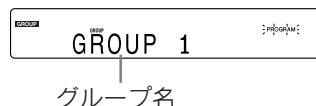
② グループ録音した MD を入れる。

表示部に“GROUP”が点灯していないときは、点灯させてください。(P.22)

③ [PROGRAM] を押す。



④ [GROUP] を押して、聞きたいグループを選ぶ。



[<] または [>] を押しても選ぶことができます。

⑤ [PROGRAM] を押して、登録する。

⑥ 4～5 の操作をくり返し、聞きたいグループを順に指定する。

⑦ 登録が終わったら… [MD ■] を押す。

⑧ [MD >||] を押して、再生を開始する。

登録されたグループの曲をすべて再生すると、自動的に停止します。

MD を取り出すまで、グループの登録は覚えています。

■登録を取り消すには

停止中に、[CLEAR] を押しします。

お知らせ

- 再生中や一時停止中にはグループを登録したり、取り消すことはできません。
- グループプログラムの設定は、録音操作をすると解除されます。
- グループモードでのプログラム選曲は、1 曲単位ではなく、グループ単位になります。
- グループプログラムをしているときは、グループモードを解除することはできません。
グループモードを解除するときは、グループプログラムの登録を取り消してください。
- グループプログラムしたあとに、リピート再生すると、聞きたいグループだけをくり返して聞くことができます。
- グループプログラムしたあとに、ランダム再生することはできません。

5 章

CD や MD のいろいろな聞きかた

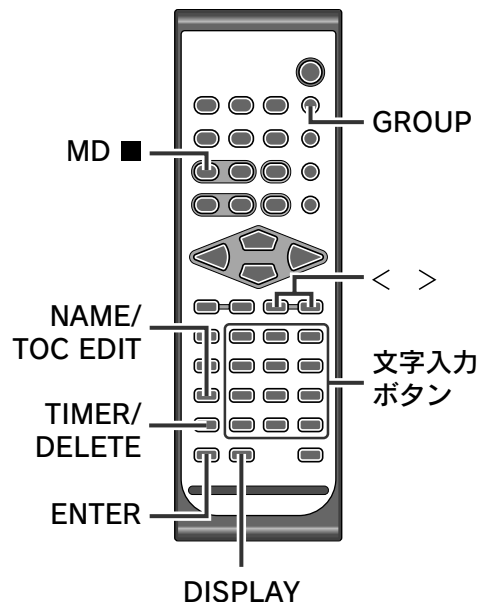
録音したMDにタイトルをつける

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

準備：録音済みのMDを入れる

6 章

MDの編集



- グループ録音したMDはグループモードが解除されると“GROUP DISC”と表示されて編集操作ができません。グループモードを設定して、操作してください。
- プログラム選曲やランダム再生を設定しているときは、編集操作はできません。設定を解除してから操作してください。

ディスク名をつける（ディスクネーム）

- 1 [MD ■] を押す。
- 2 [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。
- 3 10秒以内に… [<] または [>] を押して、
“DISC NAME” を選ぶ。



- 4 10秒以内に… [ENTER] を押す。
- 文字入力画面
- 中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。



- 5 [文字入力ボタン]、[DISPLAY] を使って、文字を入力する。



- 6 入力が終われば… [ENTER] を押す。



ディスク名が記録されます。

グループ名をつける（グループネーム）

- 1 [MD ■] を押す。
- 2 [GROUP] を押して、名前をつけるグループを選ぶ。
[<] または [>] を押しても選ぶことができます。

- 3 [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。

- 4 10秒以内に… [<] または [>] を押して、
“GROUP NAME” を選ぶ。



- 5 10秒以内に… [ENTER] を押す。
- 文字入力画面
- 中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。



- 6 [文字入力ボタン]、[DISPLAY] を使って、文字を入力する。



- 7 入力が終われば… [ENTER] を押す。



グループ名が記録されます。

お知らせ

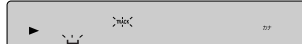
ノングループにグループ名をつけることはできません。

曲名をつける (トラックネーム)

- ① 名前をつける曲の再生中に…
[NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。

▶ TRACK NAME

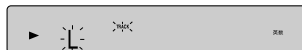
- ② 10 秒以内に… [ENTER] を押す。



文字の入力画面になり、聞いている曲がくり返して再生されます。

中止するには、[NAME/TOC EDIT]を押します。

- ③ [文字入力ボタン]、[DISPLAY] を使って、文字を入力する。



- ④ 入力が終われば… [ENTER] を押す。



曲名が記録され、通常の再生に戻ります。

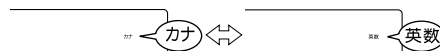
お知らせ

- 停止中に曲を選んでいたり、一時停止中にも曲名をつけることができます。
- 録音中にも曲名をつけることができます。
録音中に操作するときは、その曲の録音が終わる前に、名前の登録を終えてください。

文字入力のしかた

- ① 文字の種類を選ぶ。

- カタカナ<⇄>英数字の切り換え：
[DISPLAY] を押す。



- 英数字の大文字<⇄>小文字の切り換え：
[° ° 小文字] を押す。

- ② 文字を入力する。

- [文字入力ボタン] を押す回数によって、表示される文字が切り換わります。
- カーソルを移動するときは、[<] または [>] を押します。

文字を削除するとき

- ① 文字入力画面にする。
- ② [<] または [>] を押して、削除したい文字を選ぶ。
- ③ [TIMER/DELETE] を押す。
- ④ [ENTER] を押す。

文字を追加入力するとき

- ① 文字入力画面にする。
- ② [<] または [>] を押して、追加したい位置の文字を選ぶ。
- ③ 文字を入力する。
もとの文字が1文字ずつ右に移動します。
- ④ [ENTER] を押す。

(例)「ヒットA」と入力するときは

1. [DISPLAY] を押し、カタカナ入力モードにする。
2. [H M N O] [H M N O] (ヒ)
3. [T A G H I] [T A G H I] [T A G H I] [T A G H I] [T A G H I] (ッ)
4. [>] を押して、一文字移動する
5. [T A G H I] [T A G H I] [T A G H I] [T A G H I] [T A G H I] (ト)
6. [DISPLAY] を押し、英数入力モードにする。
7. [A B C] [A B C] (A)

(入力できる文字の種類)

ボタン	カタカナ入力 モード	DISPLAY		英数入力 モード
		大文字	° ° 小文字	
[1]	アイウエオ アイウエオ	1		1
[2]	カキクケコ	ABC 2		abc 2
[3]	サシスセソ	DEF 3		def 3
[4]	タチツテト ッ	GHI 4		ghi 4
[5]	ナニヌネノ	JKL 5		jkl 5
[6]	ハヒフヘホ	MNO 6		mno 6
[7]	マミムメモ	PQRS 7		pqrs 7
[8]	ヤユヨ ヤユヨ	TUV 8		tuv 8
[9]	ラリルレロ	WXYZ 9		wxyz 9
[10/0]	ワヲン	0 スペース		0 スペース
[>10]	° ° スペース	アルファベットの大文字/小文字の切換え (数字の大きさは変わりません。)		
記号 [TIME]	— . , / : ? & () ! " # \$ % * ; < = > @ _ ` ' + ' スペース			

録音したMDにタイトルをつける（続き）

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

■ 入力したタイトルを消すには

ディスク名を消去する

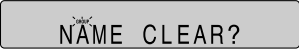
- 1 [MD ■] を押す。
- 2 [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。
- 3 10 秒以内に… [＜]または[＞]を押して、
ディスク ディスク ネーム “DISC NAME” を選ぶ。

- 4 10 秒以内に… [TIMER/DELETE]を2秒以上押す。

(確認表示です)
中止するには、[NAME/TOC EDIT]を押します。
- 5 [ENTER] を押す。
ディスク名が消去されます。

グループ名を消去する

- 1 [MD ■] を押す。
- 2 [GROUP] を押して、名前を消したいグループを選ぶ。
[＜]または[＞]を押しても選ぶことができます。
- 3 [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。
- 4 10 秒以内に… [＜]または[＞]を押して、
グループ グループ ネーム “GROUP NAME” を選ぶ。

- 5 10 秒以内に… [TIMER/DELETE]を2秒以上押す。

(確認表示です)
中止するには、[NAME/TOC EDIT]を押します。
- 6 [ENTER] を押す。
グループ名が消去されます。

曲名を消去する

- 1 名前を消したい曲の再生中に… [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。

- 2 10 秒以内に… [TIMER/DELETE]を2秒以上押す。

(確認表示です)
中止するには、[NAME/TOC EDIT]を押します。
- 3 [ENTER] を押す。
選んだ曲名が消去されます。

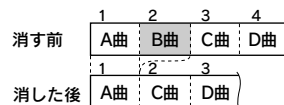
お知らせ

- 名前に “/” を連続してつけることはできません。
- 名前の先頭に “LP:” を入力すると、“LP:” が表示されないことがあります。(P.59)
- この製品でカタカナを入力したとき、他の機器では正常に表示されないことがあります。
- 他の機器でカタカナ入力されたMDは、この製品では正常に表示されないことがあります。
- ディスク名やグループ名、各曲名で入力した文字が40文字を超えると “ネーム フル NAME FULL” と表示されます。
- 1 枚の MD には、約 1,700 文字まで入力することができます。(約 1,700 文字を超えると “トラック フル TOC FULL 1” と表示されます。ただしこの製品では、グループの情報が記録されるため、1,700 文字以下でも “トラック フル TOC FULL 1” が表示されることがあります。)
- 他の機器で 40 文字以上入力された MD は、文字を修正することはできません。そのときは、ディスク名やグループ名、曲名を一度消去したあと、もう一度入力してください。(P.40)

曲やグループを消す

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

1 曲ずつ消す (トラックイレース)



- 1 停止中に…
[◀◀] または [▶▶] を押して、消したい曲を選ぶ。

消したい曲の再生中に、[MD ▶III] を押して一時停止状態にしてもできます。

- 2 本体の [ERASE] を押す。

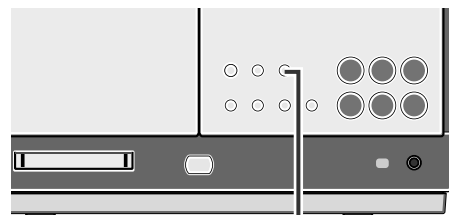
ERASE 5?
(確認表示です)

中止するには、[MD ■] を押します。

- 3 [ERASE] を 2 秒以上押す。

COMPLETE TOC

1 曲消えて、消えうしろの曲の頭で停止します。



ERASE

グループを消す (グループイレース)



- 1 停止中に…
[GROUP] を押して、消したいグループを選ぶ。

GROUP 1

[<] または [>] を押しても選ぶことができます。

- 2 [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。

- 3 10 秒以内に… [<] または [>] を押して、
グループ トラック イレース
“Gr & Tr - ERASE” を選ぶ。

Gr&Tr-ERASE

- 4 10 秒以内に… [ENTER] を押す。

GrERASE OK?

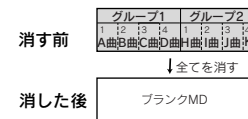
(確認表示です)

中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。

- 5 もう一度… [ENTER] を押す。

COMPLETE TOC

すべての曲を消す (オールイレース)



- 1 [MD ■] を押して、全曲表示にする。

12 42:33

- 2 本体の [ERASE] を押す。

ALL ERASE?

(確認表示です)

中止するには、[MD ■] を押します。

- 3 [ERASE] を 3 秒以上押す。

COMPLETE TOC

BLANK MD TOC

すべての曲が消えます。

ご注意

曲やグループを消すと、もとは戻せません。消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

お知らせ

- リモコンの [NAME/TOC EDIT] と [<] または [>] を押して、“Tr-ERASE” や “ALL ERASE” のメニューを選んで消去することもできます。
- グループ録音しているディスクの曲を消すときは、グループモードに設定してください。
(グループモードに設定していないと、“GROUP DISC” と表示され、消すことができません。)
- グループ内のすべての曲を消すと、そのグループも消えます。
- 曲を消すと、曲番・曲名なども同時に消えます。

6 章

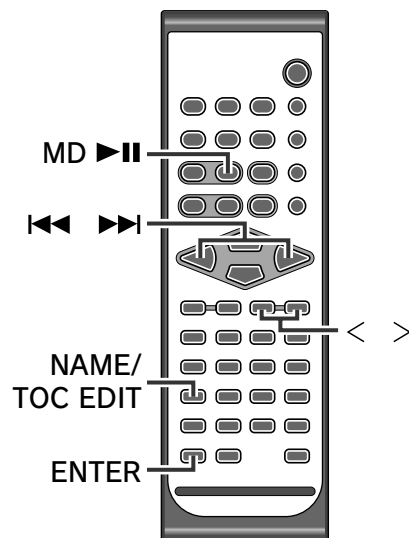
MDの編集

曲を編集する

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

6 章

MDの編集



2 曲を 1 つにつなぐ (コンバイン)

	1	2	3	4
つなぐ前	A曲	B曲	C曲	D曲
	1	2	3	
つないだ後	A曲	B曲	C曲	D曲

- 1 停止中に…
[<<] または [>>] を押して、つなぐ
うしろの曲を選ぶ。
うしろの曲を再生中に、[MD >||] を押して
一時停止状態にしてもできます。

- 2 [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メ
ニューにする。

- 3 10 秒以内に… [<] または [>] を押して、
コンバイン
“COMBINE” を選ぶ。

COMBINE

- 4 10 秒以内に… [ENTER] を押す。

3+ 4 ?
(確認表示です)

中止するには、[NAME/TOC EDIT]を押します。

- 5 もう一度… [ENTER] を押す。

COMPLETE TOC

曲がつながり、つながった曲の頭で停止します。

1 曲を 2 つに分ける (デバイド)

	1	2	3	4
分ける前	A曲	B曲	C曲	D曲
	1	2	3	4
分けた後	A曲	B曲	C曲	D曲

- 1 再生中に…
曲を分けたいところで、[MD >||] を
押して、一時停止状態にする。

- 2 [NAME/TOC EDIT] を押して、編集
メニューにする。

- 3 10 秒以内に… [<] または [>] を押して、
デバイド
“DIVIDE” を選ぶ。

DIVIDE

- 4 10 秒以内に… [ENTER] を押す。

DIVIDE OK?
(確認表示です)

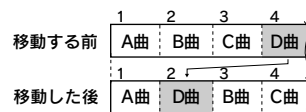
中止するには、[NAME/TOC EDIT]を押します。

- 5 もう一度… [ENTER] を押す。

COMPLETE TOC

曲が分けられ、うしろの曲の頭で停止します。

曲を移動する (ムーブ)



- 1** 停止中に…
[◀◀] または [▶▶] を押して、移動する曲を選ぶ。

移動したい曲を再生中に、[MD ▶III] を押して一時停止状態にしてもできます。

- 2** [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。

- 3** 10秒以内に… [◀] または [▶] を押して、
“^{ムーブ}MOVE” を選ぶ。

MOVE

- 4** 10秒以内に… [ENTER] を押す。

4 → 1 ?
(確認表示です)

- 5** [◀] または [▶] を押して、移動先を選ぶ。

4 → 2 ?

移動先の曲番

中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。

- 6** もう一度… [ENTER] を押す。

COMPLETE

曲が移動し、その曲の頭で停止します。

2 曲を 1 つにつなぐときの「お知らせ」

- 連続していない2つの曲をつなぐには、あらかじめ、「ムーブ」を使って2つの曲を連続させてから、つないでください。
- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲をつなぐことはできません。
- 録音モード (モノラル録音、ステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音) の異なる曲をつなぐことはできません。
- 短い曲 (ステレオ録音: 8秒、モノラル録音・2倍長時間録音: 16秒、4倍長時間録音: 32秒) はつながらないことがあります。
- つなぐ2つの曲に、両方とも曲名がついているときや、前の曲だけについているときは、前の曲名がつけます。
ただし、他の機器で録音した曲は、つかないことがあります。
- グループにしている曲は、グループ内の曲しかつなぐことはできません。別のグループの曲とつなぐときは、「グループチェンジ」(P.46) を使って2つの曲を連続させてから、つないでください。
- グループ録音しているMDは、グループモードにしないと編集はできません。

1 曲を 2 つに分けるときの「お知らせ」

- 1枚のMDで最大255曲まで曲を分けられます。
ただし、254曲以下でも曲を分けられないことがあります。(P.59)
- 分ける曲に曲名がついているときは、両方に同じ曲名がつけます。
ただし、^{トラック}TOC に文字情報を登録する空きがないときは、うしろの曲には曲名がつけません。

曲を移動するときの「お知らせ」

- グループにしている曲は、グループ内での移動しかできません。別のグループに移動するには、「グループチェンジ」(P.46) を使って曲を移動してください。

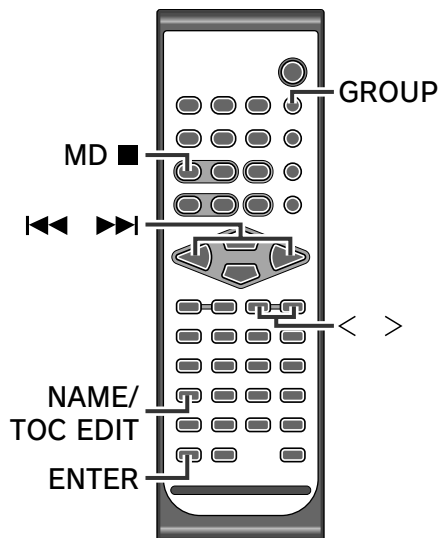
6 章

MDの編集

グループを編集する

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

準備：①グループ録音した MD を入れる
(グループエントリはグループ録音をしていない MD でも操作できます。)
② [MD ■] を押す



6 章

MD の編集

グループの選びかた

[GROUP] をくり返し押して、グループを選ぶ。
[<] または [>] を押しても選ぶことができます。

曲の選びかた

[◀▶] または [▶▶] を押して曲を選ぶ。

曲を別のグループに移動する (グループチェンジ)

移動する前	グループ1	ノングループ	グループ2	グループ3
	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	A 曲 B 曲 C 曲 D 曲	E 曲 F 曲 G 曲 H 曲	I 曲 J 曲 K 曲 L 曲	M 曲 N 曲 O 曲 P 曲

移動した後	グループ1	ノングループ	グループ2	グループ3
	1 2 3 4	1 2 3	1 2 3 4	1 2 3 4
	A 曲 B 曲 C 曲 D 曲	E 曲 F 曲 G 曲 H 曲	I 曲 J 曲 K 曲 L 曲	M 曲 N 曲 O 曲 P 曲

- 移動したい曲が入っているグループを選ぶ。
- 移動する曲を選ぶ。
- [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。
- 10秒以内に… [<] または [>] を押して、
グループチェンジ
“Gr-CHANGE” を選ぶ。
Gr-CHANGE
- 10秒以内に… [ENTER] を押す。
- [<] または [>] を押して、移動先のグループを選ぶ。
→GROUP 1
中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。
- [ENTER] を押す。
CHANGE OK?
(確認表示です)
- もう一度… [ENTER] を押す。
COMPLETE
曲が移動し、その曲の頭で停止します。

お知らせ

すべての曲を別のグループに移動すると、そのグループとグループ名は消えます。

グループを先頭に移動する (グループトップムーブ)

移動する前	グループ1	グループ2	グループ3	ノングループ
	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	A 曲 B 曲 C 曲 D 曲	E 曲 F 曲 G 曲 H 曲	I 曲 J 曲 K 曲 L 曲	M 曲 N 曲 O 曲 P 曲

移動した後	グループ1	グループ2	グループ3	ノングループ
	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	A 曲 B 曲 C 曲 D 曲	E 曲 F 曲 G 曲 H 曲	I 曲 J 曲 K 曲 L 曲	M 曲 N 曲 O 曲 P 曲

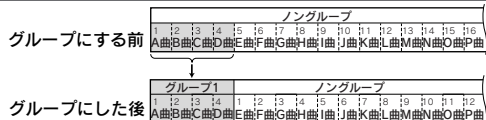
- 移動するグループを選ぶ。
- [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。
- 10秒以内に… [<] または [>] を押して、
グループトップムーブ
“Gr-TOP-MOVE” を選ぶ。
Gr-TOP-MOVE
- 10秒以内に… [ENTER] を押す。
Gr-MOVE OK?
(確認表示です)
中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。
- もう一度… [ENTER] を押す。
COMPLETE
グループが移動します。

お知らせ

- グループ名が記録されていると、グループトップムーブをしてもグループ名は変わりません。
- 先頭のグループをグループトップムーブしようとする、
キャンセル エディット
“Can't EDIT” と表示され、操作できません。
- ノングループは、グループトップムーブをすることはできません。

グループになっていない曲をグループにする

(グループエントリー)



① [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。

② 10秒以内に… [<] または [>] を押して、
グループ エントリー
“Gr-ENTRY” を選ぶ。

Gr-ENTRY

③ 10秒以内に… [ENTER] を押す。

ENTRY OK?

(確認表示です)

中止するには、[NAME/TOC EDIT]を押します。

④ もう一度… [ENTER] を押す。

START TN0.

⑤ [<] または [>] を押して、グループに
したい最初の曲を選ぶ。

1 4:48

ノングループの曲番 1 から順に表示されます。

⑥ [ENTER] を押す。

END TN0.

⑦ [<] または [>] を押して、グループに
したい最後の曲を選ぶ。

4 3:32

⑧ [ENTER] を押す。

1- 4 OK?

(確認表示です)

⑨ もう一度… [ENTER] を押す。
選んだ曲がグループになります。

ご注意

グループエントリーをすると、ノングループの曲を
すべて後ろに移動するため、曲順がわからなくなり、
もとに戻せなくなることがあります。

移動してもよいか、よく確かめてから操作してく
ださい。

お知らせ

- ノングループの曲がないときは、操作3で
“NO TRACK” と表示され、グループエントリー
することはできません。
- 連続していない曲をグループにするには、あらか
じめ「グループチェンジ」(P.46)、「ムーブ」
(P.45) を使って曲を移動させてから、グループ
エントリーをしてください。

グループ情報を消去する

(グループキャンセル)



① [NAME/TOC EDIT] を3秒以上押す。

Gr-CANCEL

② 10秒以内に… [ENTER] を押す。

EDIT OK?

(確認表示です)

中止するには、[NAME/TOC EDIT]を押します。

③ もう一度… [ENTER] を押す。
グループ情報が消えます。

ご注意

グループキャンセルをすると、すべてのグループ情
報が消去されます。

よく確かめてから操作してください。

6 章

MDの編集

音楽で目覚めたり、留守中に録音する (タイマー)

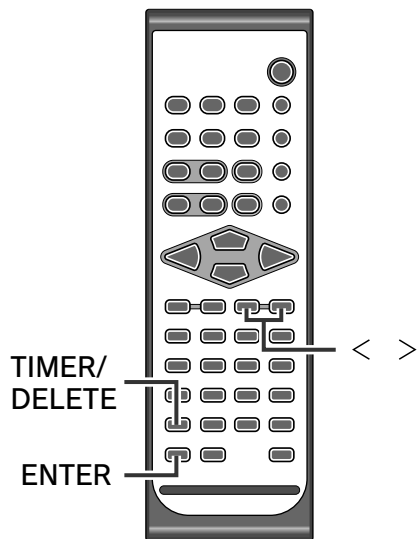
1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

音楽で目覚める (タイマー再生)
設定した時刻にCD・MD・ラジオ放送を聞くことができます。

留守中に録音する (タイマー録音)
設定した時刻にラジオ放送をMDに録音することができます。

7 章

タイマーの使いかた



- 1 電源を入れて…
[TIMER/DELETE] を押す。 STANDBY

“スタンバイSTANDBY” が表示されないときは、時計を合わせてください。
時計を合わせていないと、タイマーを設定することはできません。
- 2 10 秒以内に…
[<] または [>] を押して、タイマー “TIMER SET” を選び、セット [ENTER] を押す。 TIMER SET
- 3 [<] または [>] を押して、登録モードを選び、[ENTER] を押す。

タイマー再生するとき
TIMER PLAY

タイマー録音するとき
TIMER REC
- 4 [<] または [>] を押して、開始時刻の「時」を合わせ、[ENTER] を押す。 ON AM 7:00
- 5 [<] または [>] を押して、開始時刻の「分」を合わせ、[ENTER] を押す。

ON AM 7:30

↓

OFF AM 8:30

 - [<] または [>] を押し続けると、5 分ごとに早送りされます。
 - 開始時刻の「分」を設定すると、「時」が 1 時間増えて、終了時刻に切り換わります。

■タイマーを使う前に

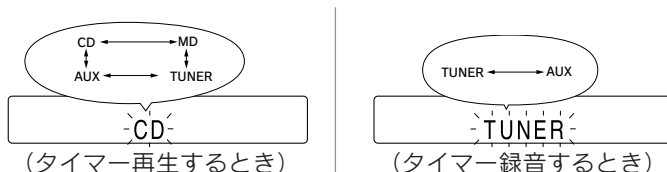
- ① 時計を合わせる
(参照 P.17)
時計を合わせていないと、タイマーは使用できません。
- ② 再生や録音の準備をする
 - 再生用または録音用の MD を入れてください。
 - ラジオ放送を聞いたり、録音するときは、放送局を登録してください。
(参照 P.24)
 - タイマー録音するときは、録音モードを確認してください。
(参照 P.28、53)

次のとき、タイマー録音はできません。

- 再生専用 MD が入っているとき
- MD が誤消去防止状態になっているとき (参照 P.26)
- MD に録音できる部分がないとき (“トックフルTOC FULL”、“ディスクフルDISC FULL” 状態など)
- MD のデータが異常なとき (“キャンCan't T REC” の状態など)

⑥ 4～5と同じ手順で、終了時刻を設定する。

⑦ [<] または [>] を押して、入力を選び、[ENTER] を押す。

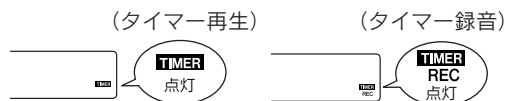


- 「TUNER」を選んだときは、続けて放送局を選んでください。
- 「AUX」を選ぶときは、他の機器とこの製品を接続 (P.52～53) して、それぞれタイマー設定してください。

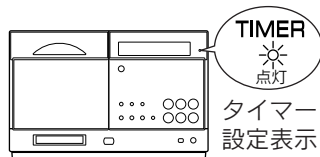
⑧ [<] または [>] を押して、音量を設定し、[ENTER] を押す。
音量をあまり大きくしないように注意してください。
[VOLUME - +] を押して設定することもできます。

VOLUME 10

タイマー設定が終わると…
登録された内容が順に表示されます。



このあと、電源が自動的に切れて、タイマー再生またはタイマー録音の待機状態になります。



チューナー
「TUNER」を選んだときは…
[<] または [>] を押して、希望の放送局を選び、[ENTER] を押す。

プリセット番号

P 1 78.0

放送局が登録されていないと「NO P.SET」と表示され、設定操作が終了します。
このときは、放送局を登録したあと、操作1からやり直してください。

■タイマーの設定を変えるときは
操作1からやり直してください。

ご注意……………

- タイマー再生とタイマー録音を同時に設定することはできません。
- 他の機器を、この製品のタイマー設定で操作することはできません。
- 録音中はタイマー設定をすることはできません。
- 電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、タイマー再生または録音の待機状態は解除されます。

お知らせ……………

- CDやMDで、リピート再生・ランダム再生・プログラム選曲を設定していても、タイマー再生することができます。
- グループ録音されたMDにタイマー録音すると、
「NON GROUP」に録音されます。グループモードを設定してタイマー録音することはできません。
- グループモードに設定してタイマー再生すると、電源が切れる前に選んでいたグループから再生を始めます。

タイマー開始時刻になると…
タイマー再生またはタイマー録音が始まります。
タイマー再生のとき、音量は徐々に大きくなります。

タイマー終了時刻になると…
電源が自動的に切れます。

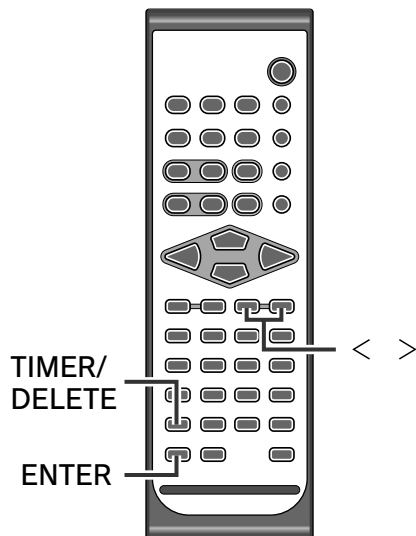
設定内容は次に変更するまで覚えています。

音楽で目覚めたり、留守中に録音する（タイマー）（続き）

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

7 章

タイマーの使いかた



タイマー設定の内容を確認する

① タイマー再生やタイマー録音の待機状態（タイマー設定表示点灯）のときに、[TIMER/DELETE]を押す。

② 10秒以内に… [タイマー<] または [コール>] を押して、“TIMER CALL”を選ぶ。

TIMER CALL

③ [ENTER] を押す。
設定した内容が順に表示されたあと、もとの状態に戻ります。

タイマー動作を解除する

タイマー再生やタイマー録音の待機状態（タイマー設定表示点灯）のときに、電源を入れると解除されます。電源を入れずに、次の操作で解除することもできます。

① [TIMER/DELETE] を押す。

② 10秒以内に… [ENTER] を押す。

CANCEL

タイマー動作は解除されます。（タイマー設定表示消灯）
ただし、設定した内容は消えません。

同じ内容で再度タイマーを使う

タイマーの内容は、一度設定すると覚えていきます。内容を変えないときは、次の操作で再設定できます。

① 電源を入れて…
[TIMER/DELETE] を押す。

STANDBY

スタンバイ
“STANDBY”が表示されないときは、時計の設定が消えています。

そのときは、時計を合わせて、タイマー設定をやり直してください。

② 10秒以内に… [ENTER] を押す。

登録された内容が順に表示されます。
このあと、電源が自動的に切れて、タイマー再生またはタイマー録音の待機状態になります。

音楽を聞きながらおやすみになる (スリープ)

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

設定した時間でCD・MD・ラジオ放送を
停止することができます。

- 1 聞きたい音楽の再生中に…
[TIMER/DELETE] を押す。

STANDBY

- 2 10 秒以内に…
[<] または [>] を押して、“^{スリープ}SLEEP”
を選ぶ。

▶ SLEEP 1:00

- 3 10 秒以内に… [ENTER] を押す。

▶ SLEEP 1:00

- 4 [<] または [>] を押して、
スリープ時間を設定する。

▶ SLEEP 30

- 1 分～2 時間まで設定できます。
- 5 分から2 時間までは5 分単位で、1 分
から5 分までは1 分単位で設定できます。

- 5 [ENTER] を押す。

▶ SLEEP 30

SLEEP
点灯

スリープ動作が始まります。

スリープ終了時刻になると…

再生が終わり、電源が切れます。
終了1 分前になると、音量が徐々に小さく
なります。
このとき、音量を変えることはできません。

スリープを解除する

電源を切ると、スリープは解除されます。
電源を切らずに、解除することもできます。

- 1 スリープ動作中に、[TIMER/DELETE]
を押す。

- 2 10 秒以内に… [<] または [>] を押して、
“^{スリープ}SLEEP ^{オフ}OFF” を選ぶ。

- 3 10 秒以内に… [ENTER] を押す。
“^{スリープ}SLEEP” が消灯します。

スリープ中に残り時間を確認する

- 1 スリープ動作中に、[TIMER/DELETE]
を押す。

- 2 10 秒以内に… [<] または [>] を押して、
“^{スリープ}SLEEP” を選ぶ。

約10 秒後にもとの表示に戻ります。
スリープ残り時間が表示されているときに
[ENTER] を押すと、時間を変更することがで
きます。(左の操作4～5)

お知らせ……………
他の機器を、この製品のスリープ設定で操作するこ
とはできません。

■ スリープとタイマーを組み 合わせて使う

スリープとタイマー再生を使うと

たとえば、ラジオ放送を聞きながらおやす
みになり、次の日の朝、CD の音楽で目覚め
ることができます。

スリープとタイマー録音を使うと

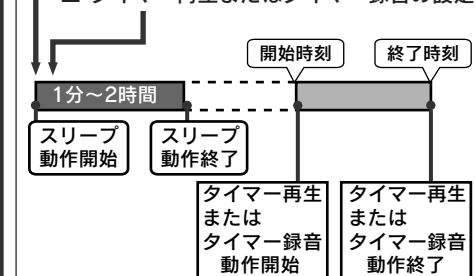
たとえば、CD を聞きながらおやすみにな
り、おやすみ中にラジオ放送を録音するこ
とができます。

- 1 スリープを設定する。
(「音楽を聞きながらおやすみになる」:
P.51 : 操作①～⑤)
- 2 タイマー再生またはタイマー録音を設定する。
(「音楽で目覚めたり、留守中に録音する」:
P.48 ~ 49 : 操作①～⑧)

スリープ時間が過ぎると電源が切れ、タイマ
ーの開始時刻になると電源が自動的に入り、タイ
マー再生またはタイマー録音が始まります。

1 スリープの設定

2 タイマー再生またはタイマー録音の設定



7 章

タイマーの使いかた

他の機器の再生音を聞いたり、録音する

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

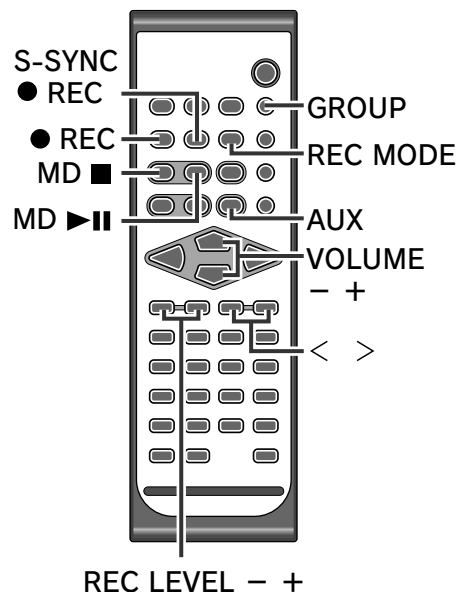
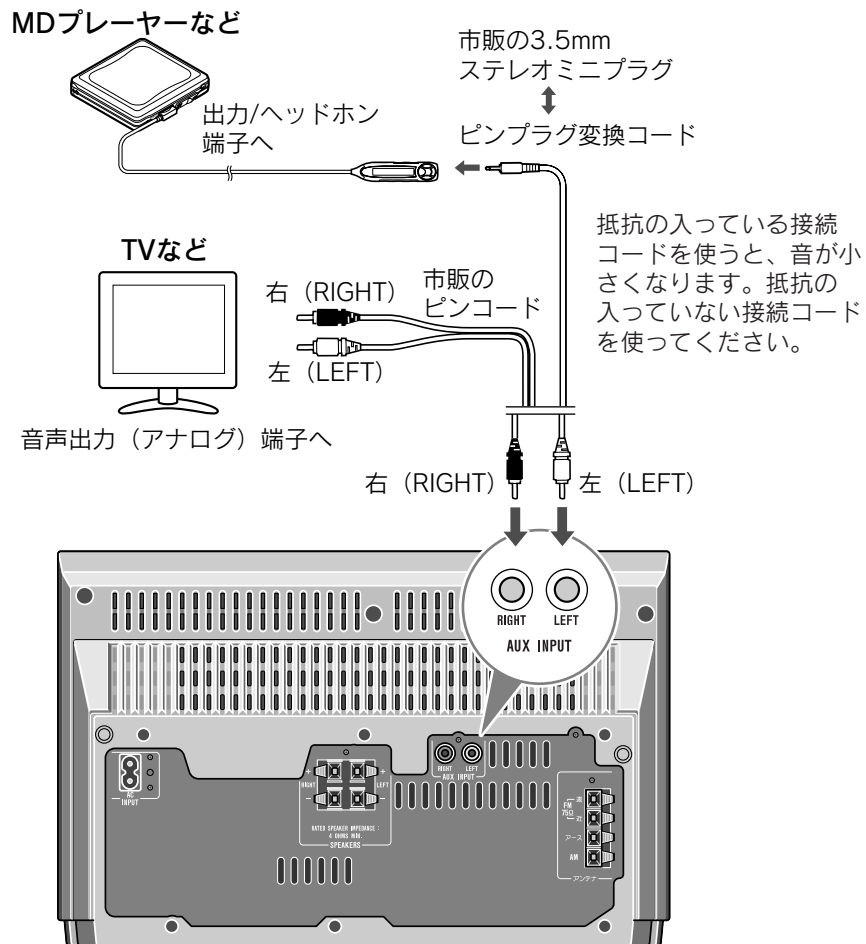
- 接続をする前には、各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。

準備：他の機器の電源を入れる。

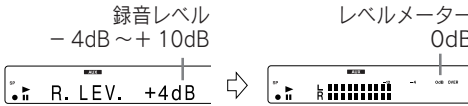
他の機器の再生音を聞く

- 1 [AUX] を押す。

- 2 接続した機器を再生する。
- 3 この製品の [VOLUME - +] を押して、音量を調整する。



他の機器の再生音を録音する

- 1 録音用 MD を入れる。
- 2 [AUX] を押す。
- 3 [● REC] を押して、録音の一時停止状態にする。
- 4 [REC MODE] を押して、録音モードを選ぶ。
- 5 接続した機器を再生する。
- 6 [REC LEVEL - +] を押して、録音レベルを調整する。
録音レベル -4dB ~ +10dB レベルメーター 0dB

- 7 録音したいところで… [MD ▶II] を押す。
録音が始まります。

録音を停止するには

[MD ■] を押す。

他の機器の再生音と同時に録音する
(サウンドシンクロ録音)

- 1 録音用 MD を入れる。
- 2 [AUX] を押す。
- 3 [REC MODE] を押して、録音モードを選ぶ。
- 4 [S-SYNC ● REC] を押して、録音の一時停止状態にする。
サウンドシンクロ
“S-SYNC” が点灯します。
- 5 接続した機器を再生する。
 - 録音が自動的に始まります。
 - 再生音が入力されなくなると、録音は一時停止します。
 - 録音レベルは前回調整したレベルになります。

●他の機器からグループ録音するとき

- 1 上の操作の 1 ~ 3 のあと、[GROUP] を押して、“GROUP” を点灯させる。
- 2 [S-SYNC ● REC] を押して、録音の一時停止状態にする。
- 3 [GROUP] を押して、録音したいグループを選ぶ。
- 4 [S-SYNC ● REC] を押す。
サウンドシンクロ
“S-SYNC” が点灯します。
- 5 接続した機器を再生する。

■ オートマークの設定について

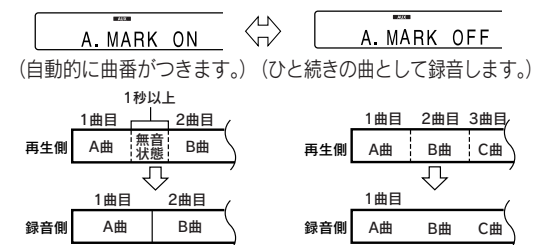
再生音に 1 秒以上無音があるときに曲番を自動的につけることができます。

お買いあげ時は オート “A.MARK ON” マーク オン になっています。

オートマークの設定を切り換えるには
録音の一時停止状態のとき…

本体の [ERASE] を押す。

1 回押すと現在の設定を表示し、表示中に続けて押すと、切り換わります。



- 曲番が多すぎたり、少ないときは、録音が終わったあとMD編集(コンバイン・デバインド) P.44 で曲番を修正してください。
- 接続した機器からの再生音に雑音が多いときは、オートマークが正しく働かないことがあります。
- サウンドシンクロ録音のときは、オートマークの設定に関係なく再生音に 1 秒以上の無音があると曲番がつきます。

CDについて

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

■取り扱いについて

使用できるディスクは？



(CD-R) (CD-RW)

ディスクレーベル面に左記マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

ご注意

本機は、CD規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準拠していない「コピーコントロールCD」などについて動作や音質を保証できません。通常のCD録音／再生時には支障がなく、上記の特殊なディスクのみに支障がある場合には、ディスクやパッケージ、印刷物などの表示をよくお読みの上、詳細についてはディスクの発売元へお問い合わせ願います。

ディスクの再生面は？

印刷のある面の反対の面です。再生面に触れないでください。

ディスクを持つときは？

必ずふちを持ってください。

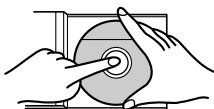


再生面のホコリやキズ、変形などは、雑音や動作不良の原因となることがあります。

ケースからの出し入れは？

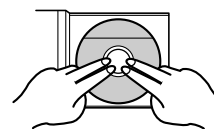
出すとき

センターホルダーを押さえ、再生面に触れないように持って出します。



入れるとき

文字のある面を上にして、上から押さえて入れます。



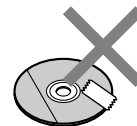
■取り扱い上のご注意

印刷面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。再生面にも影響をおよぼし、動作不良の原因となります。

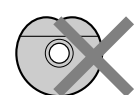


ラベルやシールを貼らないでください。

セロハンテープやラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。



特殊形状（ハート型・八角形やふち取りをしているものなど）のディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



■お手入れ

再生面に汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向にまっすぐに軽くふき取ってください。



矢印と反対の方向にふいたり、回転方向に回しながらふくと、キズがつくことがあります。

次のものは使用しないでください。

- ベンジンやアルコールなどの溶剤
- 研磨剤を含むクリーナー
- レコード用のクリーナー
- 静電防止剤

■保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

MDについて

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

9 章

ご参考

■種類について

MDには、再生専用と録音・再生用があります。

再生専用MD

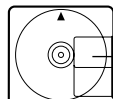


シャッターが
片面（裏面）に
あります。

市販の音楽ソフトはこのタイプ
です。CDと同じ光ディスクを
使っています。

録音や編集はできません。

録音・再生用MD



シャッターが
両面にあります。

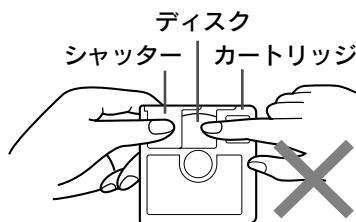
録音もできる「生ディスク」です。
光磁気ディスクを使っているた
め、くり返して録音することが
できます。

■取り扱いについて

MDはカートリッジに収納されていますので、ホコリ、キズ、指紋などがつきにくくなっています。ただし、カートリッジのすき間から入る砂ホコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因となることもありますので、次のことに注意してください。

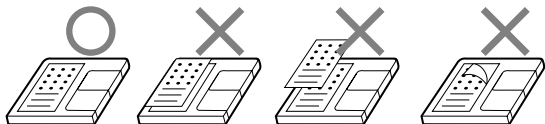
ディスクに直接触れないで！

シャッターを開けて、ディスクに
直接触れないでください。
シャッターは無理に開けると壊れます。



■ラベルを貼り付けるときのお願い

必ず次のことをお守りください。正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。



- 指定の場所（エリア内）に正しく貼る。
（指定エリア以外には貼り付けしないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けない。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用する。

■お手入れ

カートリッジ表面にホコリやゴミなどがついたときは、乾いた布でふき取ってください。

■保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

■ATRAC（音声圧縮技術）について

アトラック
ATRAC（Adaptive TTransform Acoustic Coding）は、人の耳には聞こえない音をカットして音楽データを約 1/5 に圧縮します。

聴覚心理学に基づいてデータが取舍選択されるので、聴感上の音質が損なわれにくくなっています。

この機器では、音楽データを約 1/10 または 1/20 に圧縮する アトラック ATRAC3 という圧縮方式も採用しています。

この方式を用いることにより、2倍・4倍のステレオ長時間録音を可能としています。

音とびガードメモリー

再生中は常に半導体メモリーに約10秒間の情報を蓄積します。

このため、外部からの衝撃によりピックアップが情報を一時的に読み取れなくなっても、蓄積した情報を送ることによって、音が途切れることなく再生することができます。

“故障かな？”と思ったら

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、62ページの「保証とアフターサービス」をごらんの上修理を依頼してください。

■ 共通

スピーカーから音が出ない。

- 音量が“0”になっていませんか。 ☎ P.25
- ヘッドホンをつないでいませんか。 ☎ P.15

再生中に雑音が出る。

- テレビ、パソコン、携帯電話などの機器が本機の近くにある場合は、離してください。

ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった。

- 一度、電源を切り、操作をやり直してください。それでも動作しないときは、リセット操作をしてください。 ☎ P.57

テレビの映像に乱れや雑音が生じる。

- 室内アンテナを使用しているテレビを近くに置いていると、テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。このようなときは、屋外アンテナの使用をおすすめします。

時刻の確認をしたとき、“^{タイム}TIME ^{アジャスト}ADJUST”が表示される。

- 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。(設定し直してください) ☎ P.17

タイマー再生やタイマー録音が動作しない。

- 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。時計を合わせ直してください。 ☎ P.17

表示部が暗い。

- ^{ディスプレイ}DISPLAY ボタンを2秒以上押して、“^{ディマー}DIMMER ^{オフ}OFF”を選んでください。

■ CD

CDを入れても“CD ^{ノー}NO ^{ディスク}DISC”や“^{キャント}Can't ^{リード}READ”が表示される。

- CDの裏表をまちがえていませんか。
- CDに汚れやキズがありませんか。
- 規格外のCDを使用していませんか。
- 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- つゆつき現象が起きていませんか。 ☎ P.57

操作ボタンを押しても動作をしない。

また、曲の途中で止まってしまう、正しい再生をしなくなる。

- CDに汚れやキズがありませんか。
- 規格外のCDを使用していませんか。
- 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- つゆつき現象が起きていませんか。 ☎ P.57

再生音がとぎれる。

- CDに汚れやキズがありませんか。
- 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- つゆつき現象が起きていませんか。 ☎ P.57

■ MD

MDを入れても“MD ^{ノー}NO ^{ディスク}DISC”や“^{キャント}Can't ^{リード}READ※”が表示される。再生音がとぎれる。

- ディスクにキズがついていませんか。
- 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- つゆつき現象が起きていませんか。 ☎ P.57
- Hi-MDを使用していませんか。
この製品では「Hi-MD」ディスクや「Hi-MD」フォーマットされたディスクを再生できません。

録音ができない。

- MDの誤消去防止ツマミが開いていませんか。 ☎ P.26
- 再生専用MD(市販の音楽ソフト)に録音しようとしていませんか。 ☎ P.55

→ “^{トック}TOC ^{フル}FULL”や“^{ディスク}DISC ^{フル}FULL”になっていませんか。 ☎ P.58

- Hi-MDを使用していませんか。
この製品では「Hi-MD」ディスクや「Hi-MD」フォーマットされたディスクを録音できません。

グループ録音した MD でグループが使えなくなった。
また、名前が正しく表示されない。

→ 他の機器で ^{トック} TOC データが書きかえられた可能性があります。

■ ラジオ

放送に“シー”、“ザー”という連続音が入る。

→ テレビやコンピュータ、ワープロなどの近くでラジオ放送を受信すると雑音が入ります。このようなときは、雑音の発生しやすいところから離れてみてください。

→ アンテナの方向が悪くありませんか。 ☎ P.15

放送がよく受信できない。雑音も多い。

→ アンテナ線の近くに電源コードがある場合は離してください。
→ 受信状態が改善されない場合は、屋外アンテナを設置する方法もあります。 ☎ P.16

登録した放送局を呼び出すことができない。

→ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。
登録し直してください。 ☎ P.24
→ リセット操作をしませんでしたか。登録し直してください。 ☎ P.24

■ リモコン

リモコンで操作できない。

または、正しい動作をしない。

→ 乾電池の ⊕ ⊖ の向きが逆になっていませんか。 ☎ P.13
→ 乾電池が消耗していませんか。
→ リモコンの送信部を本体のリモコンセンサーに正しく向けていますか。 ☎ P.13
→ リモコンセンサーと距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。 ☎ P.13
→ リモコンセンサーに強い光（インバーター蛍光灯や直射日光など）があたっていませんか。 ☎ P.13
→ 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。

リモコンで電源が入らない。

→ 電源コードはつながっていますか。 ☎ P.14

つゆつき現象について

次のようなときには、内部のレンズやディスクにつゆ（水滴）がつくことがあります。

- 暖房をつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと……ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆを取るには…ディスクを取り出して電源を入れておけば、約 1 時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

異常が起きたら

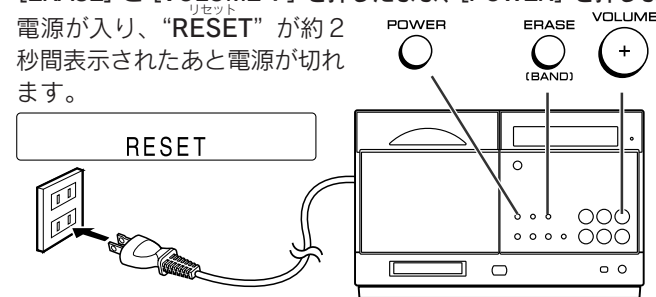
この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

リセット操作

- ① 電源コードをコンセントに差しします。
- ② [ERASE] と [VOLUME +] を押したまま、[POWER] を押します。

電源が入り、“^{リセット}RESET” が約 2 秒間表示されたあと電源が切れます。



ご注意
リセット操作をすると、登録した内容は消え、各種の設定はお買いあげ時の状態に戻ります。

こんな表示が出たときは

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

表示	意味	このようにしてください
ブランク BLANK MD	・何も記録されていない。 (音楽もディスク名も記録されていない。)	・再生するときは、録音された MD と取り換える。
キャント コピー Can't COPY	・コピー禁止の CD から録音しようとした。	・コピー可能な CD から録音する。
キャント エディット Can't EDIT	・MD 編集できない。	・別の曲を編集してみる。 ・グループトップムーブ、グループチェンジができないときは、不要なタイトルを消す。
キャント リード Can't READ ※ (※は数字や記号です。)	・ディスクにキズがある。 ・TOC 情報が読めない。 ・規格外の CD や MD。 ・ディスクが表裏逆。 ・「Hi-MD」ディスクを入れた。 ・情報が記録されていない CD-R、CD-RW を入れた。	・CD や MD を入れ直すか、取り換える。 ・オールイレースをして、録音をやり直す。
キャント レコード Can't REC	・ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	・録音をやり直すか、MD を換えてみる。
キャント レコード Can't T REC	・タイマー録音ができない。または、MD に録音できる空きがない。	・他の録音用 MD と取り換える。
キャント ライト Can't WRITE	・ショックやディスクのキズで TOC 情報が正しく作成できない。	・電源を切って、もう一度書き込みを試みる。 書き込み中はショックを与えないでください。
ノー ディスク CD NO DISC	・CD が入っていない。 ・CD が表裏逆。	・CD を入れる。 ・CD を入れ直す。
ディスク フル DISC FULL	・MD に録音できる空きがない。	・他の録音用 MD と取り換える。
エディット オーバー EDIT OVER	・MD の録音時間が足りない。	・録音時間のある MD と取り換える。
Er-AP ※※ (※※は数字や記号です。)	・アンプ動作異常	・電源を切って、再度電源を入れてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあめの販売店に修理をお申し付けください。

表示	意味	このようにしてください
Er-PO	・MD 動作異常。	・電源を切って、再度電源を入れてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあめの販売店に修理をお申し付けください。
Er-MD ※※ (※※は数字や記号です。)	・MD が正しく働いていない。	・MD 取出しボタンを押してみる。 ・電源を切って、再度電源を入れてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあめの販売店に修理をお申し付けください。
グループ ディスク GROUP DISC	・グループ録音した MD をグループモードに設定しないで編集しようとした。	・グループモードに設定して編集をする。
グループ フル GROUP FULL	・グループ数が 99 をこえている。	・不要なグループを消す。
イー ディスク MD NO DISC	・MD が入っていない。 ・MD のデータが読めない。	・MD を入れる。 ・MD をもう一度入れ直す。
ネーム フル NAME FULL	・ディスク名・グループ名・曲名が 40 文字をこえている。	・ディスク名・グループ名・曲名を短くする。
ノートラック NO TRACK	・再生、編集する曲がない。	・曲のあるグループ、ノングループを選択する。
ノット オーディオ NOT AUDIO	・オーディオ用でないデータが記録されている。	・CD や MD を取り換える。
プレイバック PLAYBACK MD	・再生専用 MD に録音や編集しようとした。	・録音用 MD と取り換える。
プロテクト PROTECTED	・MD の誤消去防止ツマミが開いている。	・誤消去防止ツマミを閉じる。
テンプ オーバー TEMP OVER	・温度が高くなりすぎた。	・電源を切ってしばらく置いておく。
トラック フォーム TOC FORM ※※ (※※は数字や記号です。)	・記録されている TOC 情報が MD の規格に合っていないかたり、読めない。	・他の MD と取り換える。 ・オールイレースをして、録音をやり直す。
トラック フル TOC FULL	・曲番を登録する空きがない。	・他の MD と取り換える。

9 章

参考

MDのシステム上の制約

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

表示	意味	このようにしてください
トック フル TOC FULL 1	・ TOCに文字情報を登録する空きがない。 ・ グループ録音ができない。 ・ グループエントリーができない。	・ 他のMDと取り換える。 ・ 不要な文字を消す。 ・ 不要なディスク名・グループ名・曲名を消す。
ウェイト WAIT ※※ m ↓ ガード GUARD (※※は数字です。)	・ 倍速での録音ができない。	・ 表示された時間だけ録音を待つか、定速で録音する。
ディスク ? DISC	・ データに異常がある。 ・ 規格外のMD。 ・ MDが正しく入っていない。	・ 他のMDと取り換える。 ・ MD取出しボタンを押してみる。
グループフォーム ? GrForm. ↓ ニュー フォーム NewForm.OK?	・ グループ録音ができない。 ・ グループエントリーができない。	・ グループモードを解除する。 ・ ENTERボタンを押して、ディスク名を消す。(P.26)

こんなとき	このような制約があります
MDの最大録音時間に満たなくても “DISC FULL”が表示されることがあります。	・ ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため、録音時間が少なくなります。 ・ 最大録音曲数(255曲)まで録音されたMDは、それ以上録音することはできません。
MDの最大録音曲数(255曲)に満たなくても “TOC FULL”が表示されることがあります。	・ MDシステムでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度でも部分的に消去して録音をしたり、編集をくり返すと、曲数が最大(255曲)にならなくても、TOCの情報がいっぱいになり、録音できなくなります。(このようなMDは、オールイレースを行なえば最初から使用できます。)
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがあります。	・ MDの録音残り時間を表示するとき、短い曲(ステレオ録音: 12秒、モノラル録音・2倍長時間録音: 24秒、4倍長時間録音: 48秒)は、曲として数えられないことがあります。
MDに録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間と一致しないことがあります。	・ 通常は、1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため、録音時間が少なくなります。
編集で曲と曲をつなげられないことがあります。	・ 録音、編集をくり返して行ったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。CDから録音した曲(デジタル録音)とラジオ放送や他の機器から録音した曲(アナログ録音)をつなぐことはできません。 ・ 録音モード(モノラル録音、ステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音)の異なる曲をつなぐことはできません。

録音された曲を早送り/早戻しすると、音がとぎれることがあります。	・ 録音、編集をくり返して行ったMDでは、早送り/早戻し中に音がとぎれることがあります。
名前の先頭に“LP:”を入力すると“LP:”が表示されないことがあります。	・ 2倍、4倍長時間録音(LP2・LP4)した曲の曲名の先頭に“LP:”を入力すると、“LP:”が表示されません。“LP”のあとに“.”以外の記号や文字を入力してください。

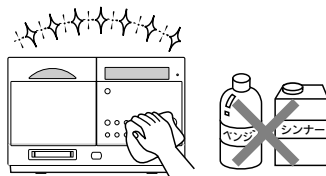
9 章

ご参考

お手入れについて

■ 本体のお手入れ

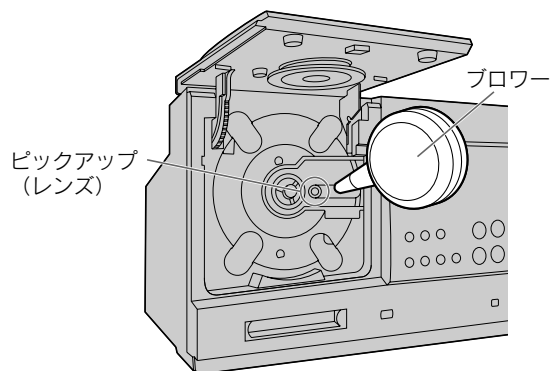
- やわらかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



ご注意
 ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。
 また、殺虫剤などの揮発性のあるものをかけないでください。
 表面の仕上げをいためたり変色の原因となることがあります。

■ CD ピックアップのお手入れ

ピックアップ（レンズ）にホコリや汚れがつくと、音とびを起こしたり、正しく動作をしないことがあります。
 ホコリがついたときは、市販のカメラレンズ清掃用のブロワーなどで清掃してください。



ご注意
 • ピックアップ（レンズ）は手でさわらないように気をつけてください。
 • 使わないときはCD ボタを開けておいてください。
 • レンズにキズをつけないように気をつけてください。

音楽著作権について

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

- 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープ、MD を売る、配る、譲る、貸すときなど。
- 営利（店のBGMなど）のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。
 - ・ かわいい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部またはもよりの支部へお問い合わせください。
 - ・ この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会
 ☎ (03) 5353-0336

日本音楽著作権協会

本部	☎ (03) 3481 - 2121	横浜支部	☎ (045) 662 - 6551
北海道支部	☎ (011) 221 - 5088	静岡支部	☎ (054) 254 - 2621
盛岡支部	☎ (019) 652 - 3201	中部支部	☎ (052) 583 - 7590
仙台支部	☎ (022) 264 - 2266	北陸支部	☎ (076) 221 - 3602
長野支部	☎ (026) 225 - 7111	京都支部	☎ (075) 251 - 0134
大宮支部	☎ (048) 643 - 5461	大阪支部	☎ (06) 6244 - 0351
上野支部	☎ (03) 3832 - 1033	神戸支部	☎ (078) 322 - 0561
東京支部	☎ (03) 3562 - 4455	中国支部	☎ (082) 249 - 6362
西東京支部	☎ (03) 5321 - 9530	四国支部	☎ (087) 821 - 9191
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5321 - 9881	九州支部	☎ (092) 441 - 2285
立川支部	☎ (042) 529 - 1500	鹿児島支部	☎ (099) 224 - 6211
		那覇支部	☎ (098) 863 - 1228

仕様

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

ミニディスク部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
回転数	約400～900 rpm
エラー訂正方式	アドバンスド クロス インターリーブ リードソロモン コード (ACIRC)
音声圧縮/伸長方式	ATRAC(Adaptive Transform Acoustic Coding) / ATRAC3 24 ビット演算方式
チャンネル数	ステレオ2チャンネル/モノラル（長時間モード）1チャンネル
サンプリング周波数	44.1 kHz
周波数特性	20～20,000 Hz (+1/-3dB) (JEITA) ※
ワウ・フラッター	測定限界 (±0.001%W.PEAK) 以下 (JEITA) ※

コンパクトディスクプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
チャンネル数	ステレオ2チャンネル
周波数特性	20～20,000 Hz (+1/-3dB) (JEITA) ※
ワウ・フラッター	測定限界 (±0.001%W.PEAK) 以下 (JEITA) ※

チューナー部

受信周波数	FM : 76.0～108.0 MHz (TV音声 1～3CH) AM : 522～1,629 kHz
回路方式	クォーツデジタルシンセサイザー方式 スーパーヘテロダインFM/AMチューナー
アンテナ	FM（遠／近）、AM、アース

タイマー／時計部

形式	デジタルクロック
タイマー	1日1回 ON/OFF可能

リモコン部

電源	DC 3 V（付属単3乾電池×2個）
----	--------------------

アンプ／共通部

実用最大出力	40 W (20 W+20 W) (JEITA) ※
A/Dノイズシェーピング	7次 $\Delta\Sigma$ (デルタシグマ) 変調
入力端子	アナログ外部入力 : 500 mV (47 k Ω) ピンジャック (L/R) × 1
出力端子	スピーカー出力 : 4 Ω ヘッドホン出力 : 16～50 Ω (推奨32 Ω) 直径3.5 mmステレオミニジャック×1
電源	100 V AC、50/60 Hz
消費電力	AC 48 W
最大外形寸法	318 (幅) × 209 (高さ) × 210 (奥行) mm (JEITA) ※
質量	約4.6 kg

スピーカー部

形式	バスレフ型（スピーカーネット脱着式）
スピーカー	ウーハー : 12 cm ツイーター : 2 cmソフトドーム型
インピーダンス	4 Ω
最大入力	40 W
最大外形寸法	150 (幅) × 293 (高さ) × 181 (奥行) mm (JEITA) ※
質量	約2.5 kg×2

スピーカーは、防磁対応されていません。

※ JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

9 章

べ 参 考

保証とアフターサービス (よくお読みください)

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

保証書 (別添)

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、1ビットデジタルシステムの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口 (63 ページ) にお問い合わせください。

愛情点検



長年ご使用のオーディオ機器の点検を!

このような
症状は
ありませんか?

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときは

出張修理

- 「「故障かな?」と思ったら」(56～57 ページ) を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容

品 名 : 1ビットデジタルシステム
形 名 : SD-CX80
お買いあげ日 (年 月 日)
故 障 の 状 況 (できるだけ具体的に)
ご 住 所 (付近の目印も合わせてお知らせください。)

お 名 前
電 話 番 号
ご 訪 問 希 望 日

- 便利メモ お客様へ...
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電 話 () -

■ 保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お客様ご相談窓口のご案内

1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-CX80

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品の
ご購入に関するご相談は・・・ **修理相談センター** へ

● 製品のお取扱い方法、
その他ご不明な点は・・・ **お客様相談センター** へ

お客様相談センター

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043-297-4649	FAX 043-299-8280
	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	
西日本相談室	TEL 06-6621-4649	FAX 06-6792-5993
	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時 ＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）



0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、N T Tより通話料金の目安をお知らせ致します。
（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

	<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHSでのご利用は・・・	(一般電話) 043-299-3863	06-6792-5511
○ F A Xを送信される場合は・・・	(F A X) 043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談**は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にも承っております。

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は・・・＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠 点 名	電 話 番 号	郵便番号	所 在 地
北海道地区	札幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稲台295-1
東海地区	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市中区中原1-2-23
	静岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水島坂1170-1
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川県野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸 サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

9 章

べし参考

● 製品についてのお問い合わせは・・

お客様相談センター

東日本相談室	TEL 043-297-4649	FAX 043-299-8280
西日本相談室	TEL 06-6621-4649	FAX 06-6792-5993

《受付時間》 月曜～土曜：午前 9 時～午後 6 時 日曜・祝日：午前 10 時～午後 5 時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は・・

63 ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地